
easyHousing

環境設定マニュアル Windows7 編 第 2.4 版

2015年3月9日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	内容
初版	2011/08/29	・ 新規作成
1.1 版	2012/01/20	・ 改版履歴を追加 ・ 4.1 Internet Explorer の設定 「インターネットオプション」 レベルのカスタマイズ 「インターネット」の設定を「信頼済みサイト」で行うように修正 それに伴い、Cookie とポップアップブロックの設定手順を削除
1.2 版	2012/05/15	・ 4.1 Internet Explorer の設定 ④ セキュリティの設定に「アプリケーションと安全でないファイルの起動」にチェックする手順を追加 ・ 5.1 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール ⑧ 既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合の手順を追加 ・ 5.2 JRE のインストール JRE1.7 のインストール手順に変更
1.3 版	2012/07/24	・ 4.1 Internet Explorer の設定 ポップアップブロック解除手順を追加 ・ JRE と電子証明書ライブラリのインストール順を変更 ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 読み込み画面の説明を追加
1.4 版	2012/08/20	・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 初回接続時の警告メッセージを追加
1.5 版	2013/01/18	・ 2.1 Windows ユーザの権限について 文章の構成を修正(仕様変更は無し) ・ 3 電子証明書 証明書の削除手順を追加し、既存部分の説明を一部修正。 ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 初回接続時の手順を JRE1.6 から JRE1.7 に変更 ・ 5.3 Adobe Reader のインストール Adobe Reader のバージョンの例を 9 から X(10)に変更
1.6 版	2013/03/06	・ 2.1 Windows ユーザの権限について 説明文を一部修正 ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 初回接続時のダイアログ画面と手順を修正 ダウンロード画面の画像を変更

1.7 版	2013/04/18	・ 4 インターネットエクスプローラ ・ 5.1 JRE のインストール ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール ・ 5.3 Adobe Reader のインストール 対応ブラウザに IE10 の追加 ・ 5.3 Adobe Reader のインストール 動作する Adobe Reader のバージョン修正
1.8 版	2013/08/07	・ 2.1 Windows ユーザの権限について 電子署名ライブラリ v1.02 に合わせて説明文を修正 ・ 4.1 Internet Explorer の設定 以下の設定手順を追加 タブの「ポップアップの発生時」 詳細設定の「暗号化されたページをディスクに保存しない」 ・ 5.1 JRE のインストール ダウンロードの説明文を一部修正 ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ 電子署名ライブラリ v1.02 に合わせて、以下を変更 既存の手順を 5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロードと 5.2.2 電子署名ライブラリのインストールに分割し、 説明文を修正 5.2.3 電子署名ライブラリのアップグレードを追加 (補足) Administrator 権限の追加・削除手順を削除 ・ 5.3 Adobe Reader のインストール 手順の説明を URL のリンクに変更 ・ 補足 1、補足 2 を追加
1.9 版	2013/10/30	・ 4.1 Internet Explorer の設定 拡張保護モードの設定手順を追加 ・ 5 必要ソフトウェアのセットアップ 説明文を修正 ・ 5.1 JRE のインストール JRE のダウンロード画面を変更 Windows オフライン (64 ビット)の説明を修正 ・ 5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード ログイン時の説明を修正 ・ 5.3 Adobe Reader のインストール 説明文と画像を追加 補足 2.1 Java アップデート手順

		マカフィーの説明を追加
2.0 版	2014/2/5	対応ブラウザに IE11 の追加 ・ 4.1 Internet Explorer の設定 IE11 に関する記載を追加 ・ 5.1.1 JRE1.7 のインストール手順 セキュリティ・プロンプト復元についての説明を追加
2.1 版	2014/2/24	・ 3.1 電子証明書のインストール 証明書のファイル名を修正 セキュリティ警告の説明を追加
2.2 版	2014/12/26	・ 5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード 一部画像の変更(手順③、④)
2.3 版	2015/1/7	・ 5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード Java 先読み画面に関する説明文の削除
2.4 版	2015/3/9	5.1.1 JRE のインストール手順 ・ インストール手順を JRE1.7 から JRE1.8 に変更

目 次

1	はじめに	2
2	利用者環境	3
2.1	Windows ユーザの権限について	3
3	電子証明書	4
3.1	電子証明書のインストール	4
3.2	電子証明書の削除	9
4	インターネットエクスプローラ	12
4.1	Internet Explorer の設定	13
5	必要ソフトウェアのセットアップ	24
5.1	JRE のインストール	24
5.1.1	JRE1.8 のインストール手順	27
5.2	easyHousing 電子署名ライブラリ	30
5.2.1	電子署名ライブラリのダウンロード	30
5.2.2	電子署名ライブラリのインストール	35
5.3	Adobe Reader のインストール	43
補足 1	必要ソフトウェアのアンインストール手順	44
補足 1.1	Java アンインストール手順	44
補足 1.2	電子署名ライブラリ アンインストール手順	48
補足 2	必要ソフトウェアの更新手順	52
補足 2.1	Java アップデート手順	52
補足 2.2	電子署名ライブラリ アップグレード手順	56

1 はじめに

このマニュアルは、本サービス利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

- ・利用者環境の確認
- ・電子証明書のインストール
- ・インターネットエクスプローラの設定
- ・必要ソフトウェア（電子署名ライブラリ、JRE、Adobe Reader）のセットアップ

※このマニュアルは、Windows7 を対象としています。

2 利用者環境

2.1 Windows ユーザの権限について

本サービスは事前準備の段階で、Administrator 権限が必要になります。

事前準備終了後、サービス利用時は Administrator 権限が無くても問題ありません。

電子証明書の インストール	Administrator 権限は不要です。
インターネット エクスプローラの設定	Administrator 権限は不要です。
電子署名ライブラリの インストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、インストール中に Administrator のパスワード入力が必要です。
JRE の インストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、Administrator 権限を持つ他のユーザからのインストールが必要です。
Adobe Reader の インストール	同上

3 電子証明書

3.1 電子証明書のインストール

電子証明書のインストール手順を説明します。

- ※ 本作業は、発注処理・請負処理の契約行為を行う端末に必要な作業です。
参照するだけであれば不要です。

●用意するもの

- *1 「easyHousing 電子証明書」のCD-ROM
- *2 「証明書パスワード（PINコード）」を記載している葉書

※証明書を更新する場合、新しい証明書もインストールする手順は同じですが、古い証明書を削除する必要があります。

(9 ページ『3.2 電子証明書の削除』を参照してください)

①電子証明書のCD-ROM (*1) をドライブにセットしてください。

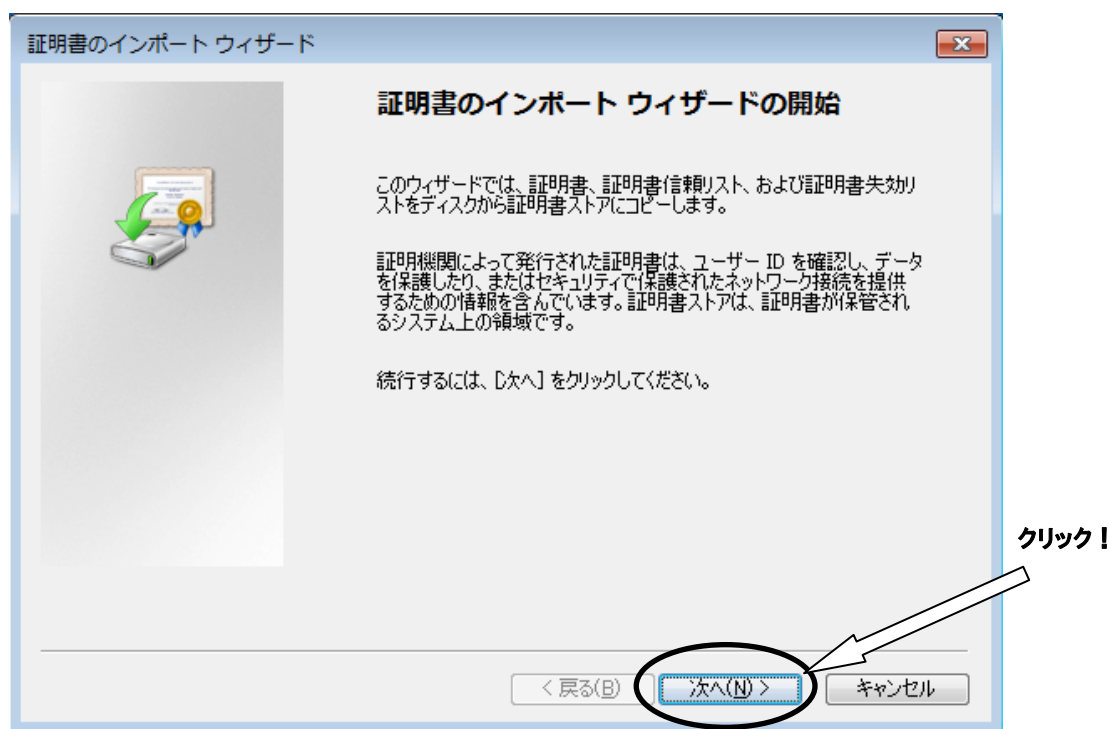
証明書ファイル(「CERT_xxxxxx.p12」または「xxxx.p12」)をダブルクリックし、インストールを開始します。

◆メモ◆

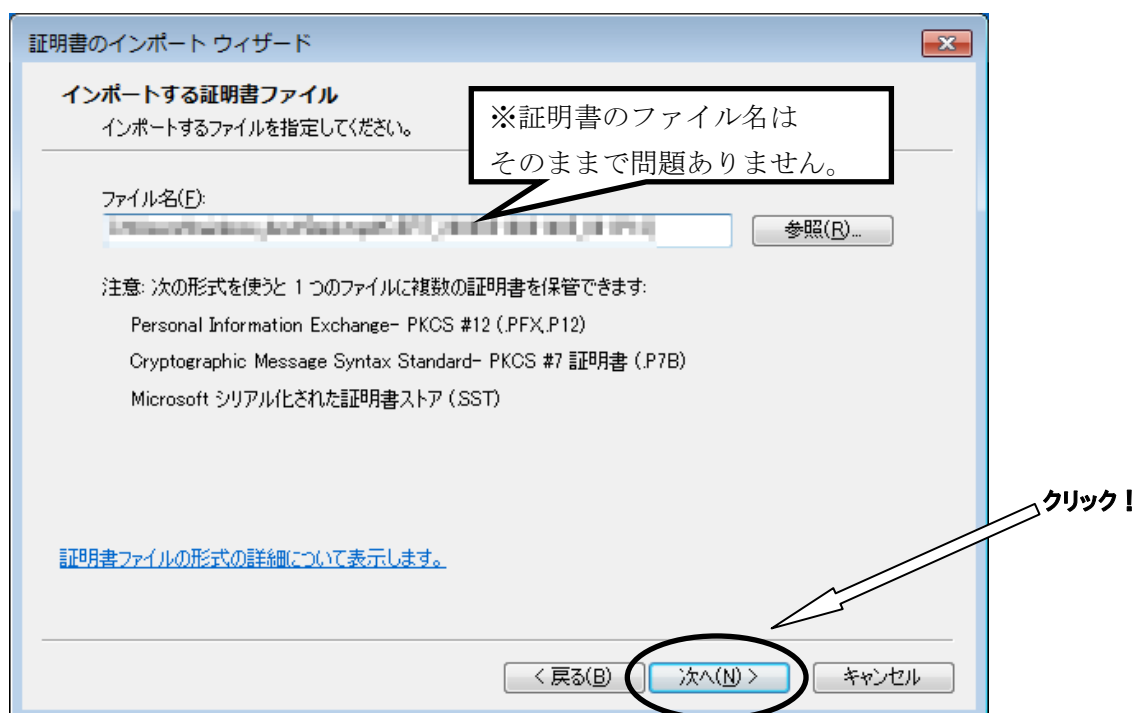
オートラン機能が有効なシステムでは、CD-ROM の内容が自動的に読み込まれ 下図の画面が表示されます。

オートランに対応していないシステムや、ファイルを指定してインストールする場合は、エクスプローラから CD-ROM ドライブを開いていただければ同様な操作ができます。

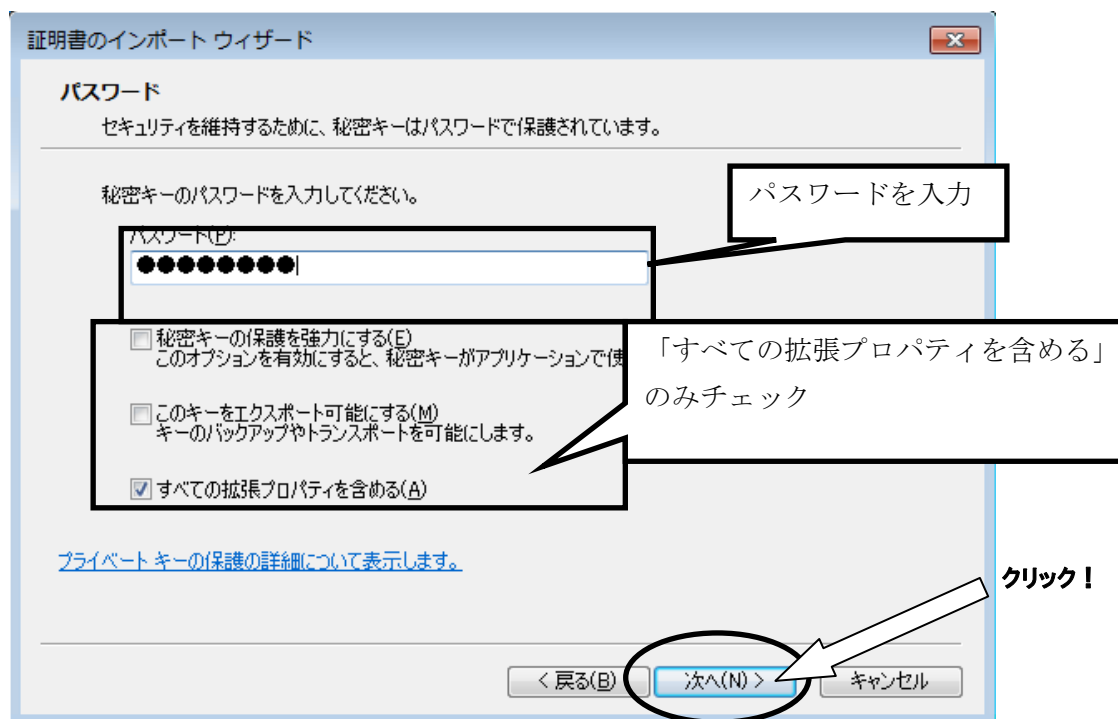
- ②「証明書のインポートウィザード」が表示されるので、『次へ』ボタンをクリックします。



- ③<インポートする証明書ファイル>画面が表示されます。『次へ』ボタンをクリックします。



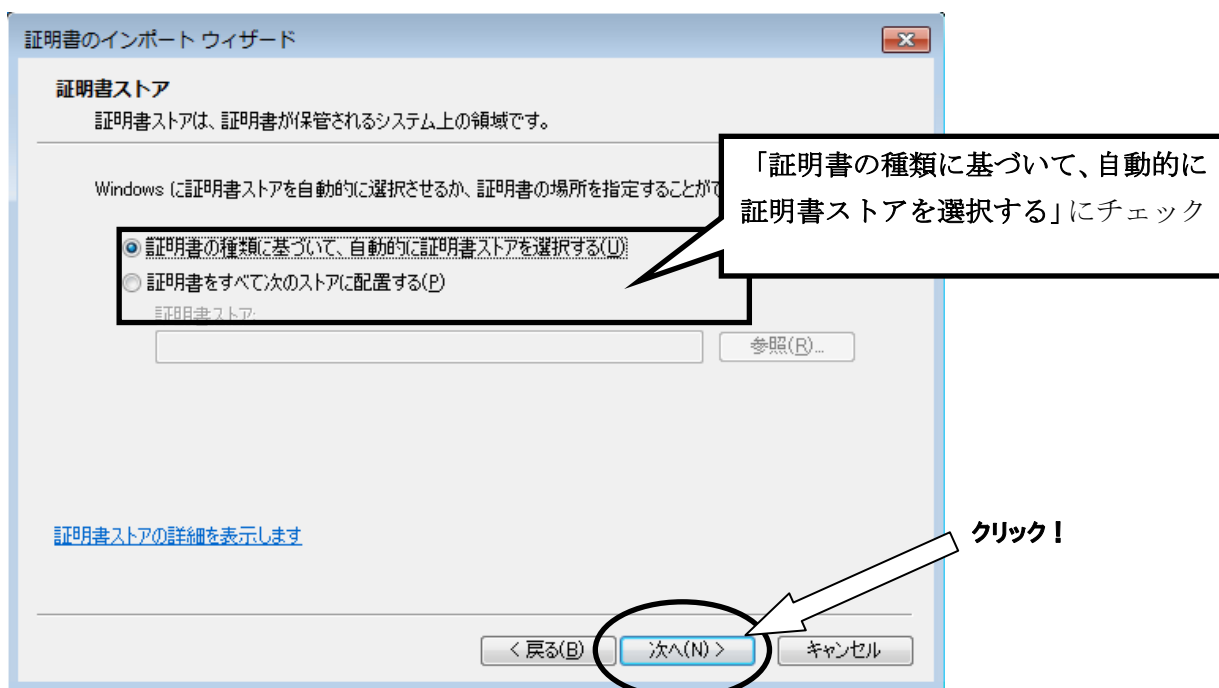
- ④「パスワード」画面で、「証明書パスワード（PINコード）」の葉書（*2）に記載されているパスワードを入力し、チェックボックスは「すべての拡張プロパティを含める」のみチェックされていることを確認し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



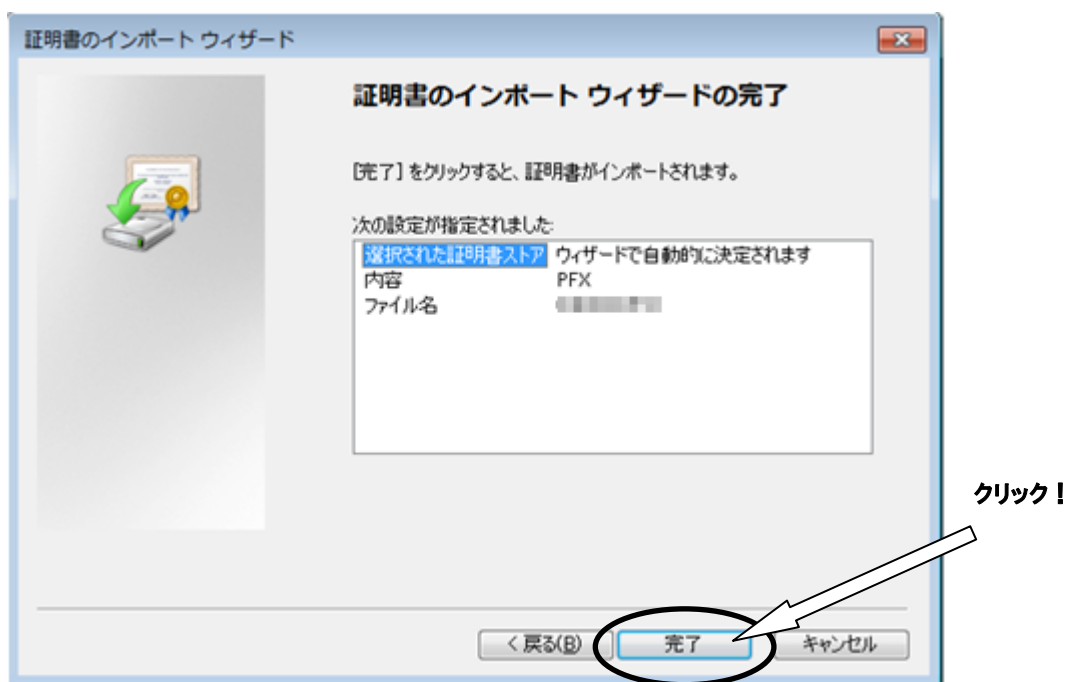
★注意★

- ・パスワードは「大文字」「小文字」を区別しています。葉書に表記されている通りに入力を行ってください。
- ・パスワードを打つと全ての文字が「●」で表示されますので、お間違えの無いように入力を行ってください。

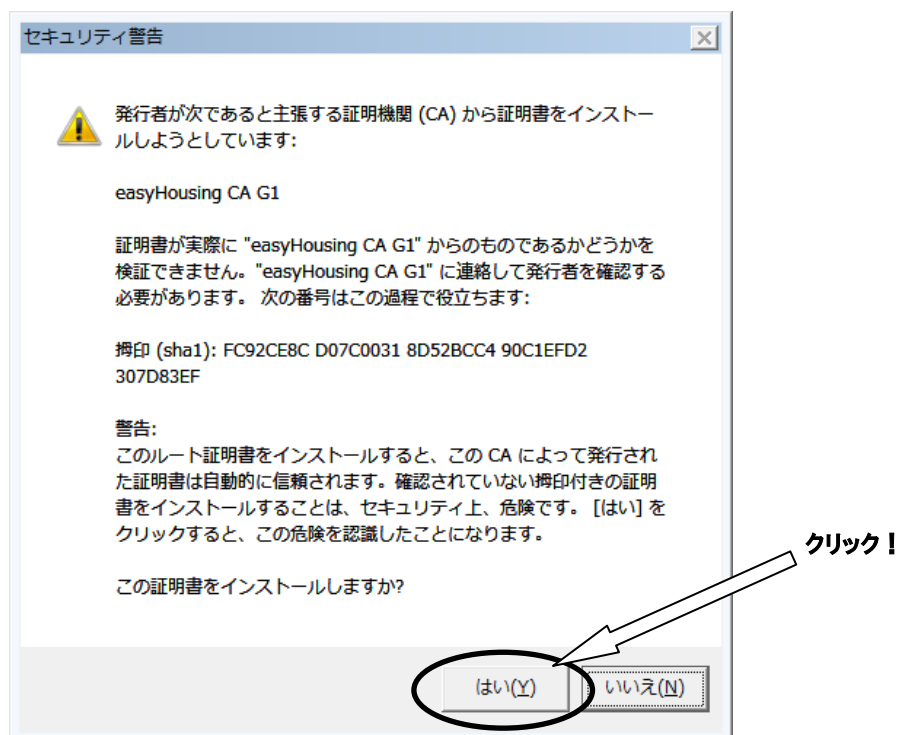
- ⑤ <証明書ストア>画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選択し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



- ⑥ <証明書インポート ウィザードの完了>画面では、『完了』をクリックします。



※環境によっては、以下のような画面が表示される場合がありますが「はい」をクリックしてください。

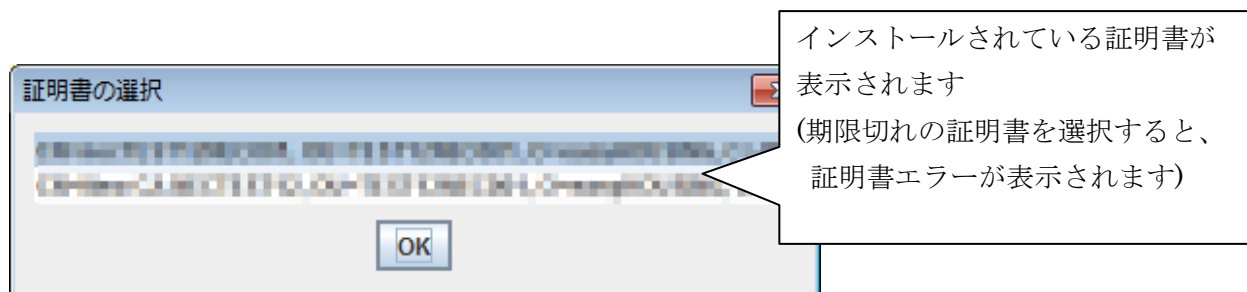


★注意★

電子証明書の保管庫は Windows の証明書ストア“個人”になるので、発注/請負を行うには、電子証明書をインストールした際のユーザーアカウントで Windows にログインしておく必要があります。

3.2 電子証明書の削除

easyHousing の証明書が複数インストールされている場合、easyHousing を利用中に以下のような画面が表示される場合があります。

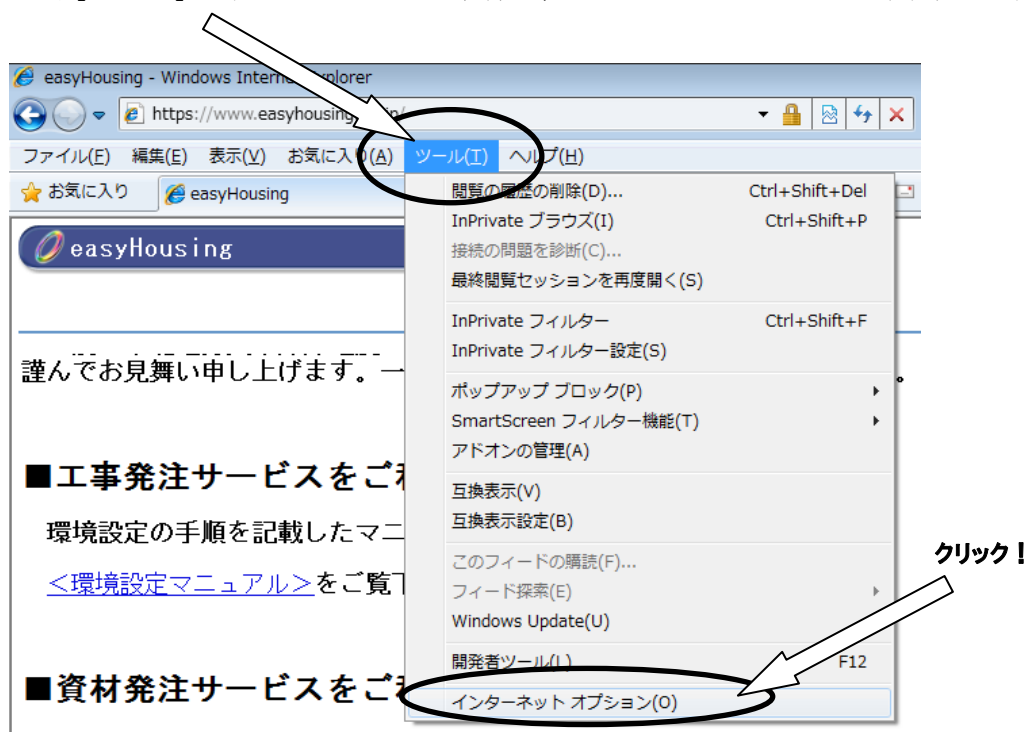


証明書更新後に残る古い証明書など、不要な証明書は削除をお願い致します。
削除の手順は以下になります。

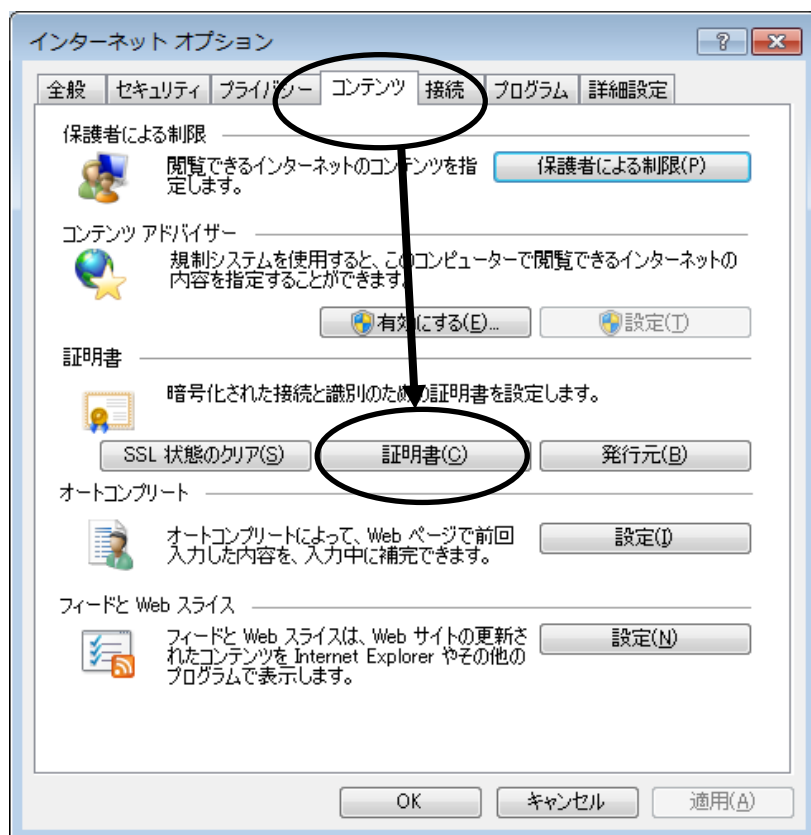
①Internet Explorer を起動します。

②メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

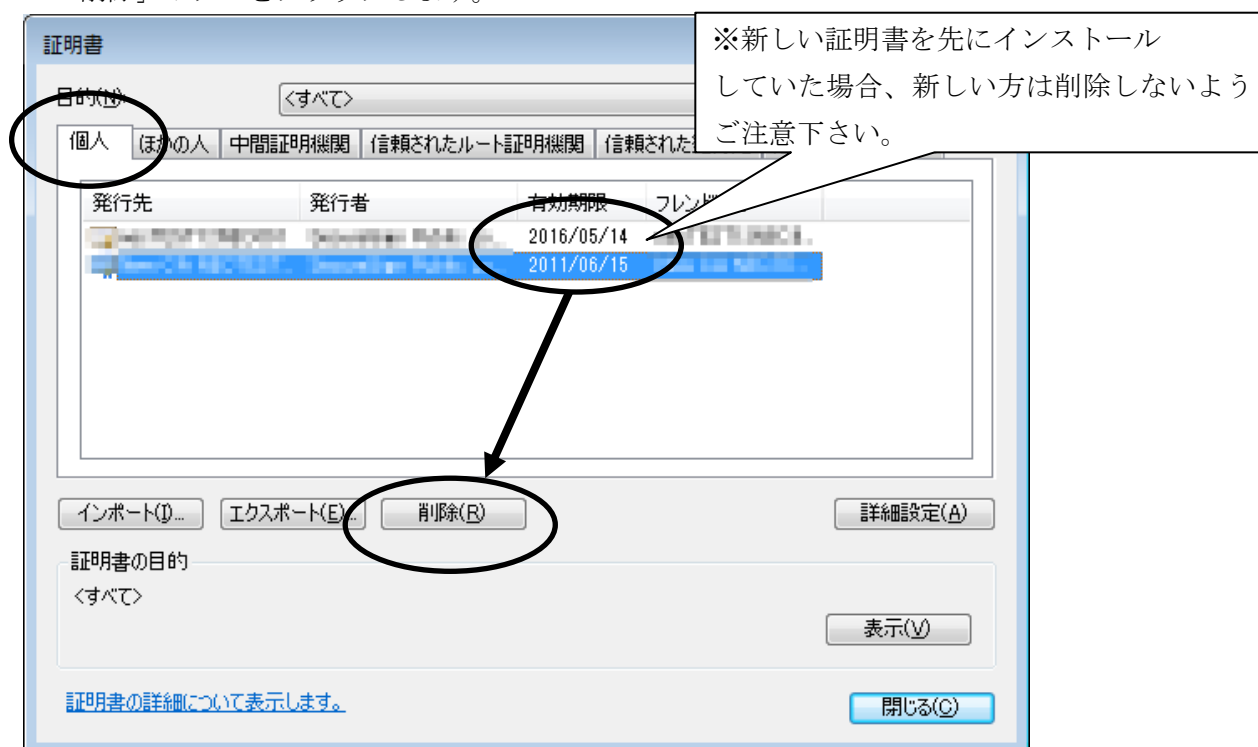
(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)



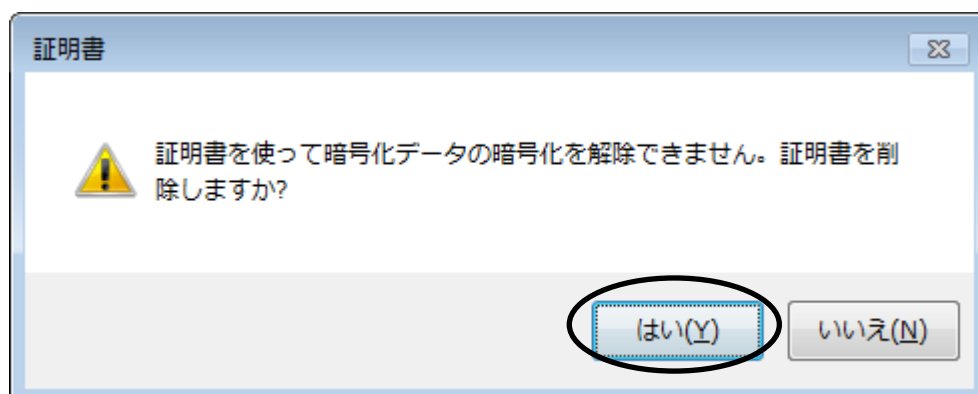
③ 「コンテンツ」タブ、「証明書」ボタンの順にクリックしてください。



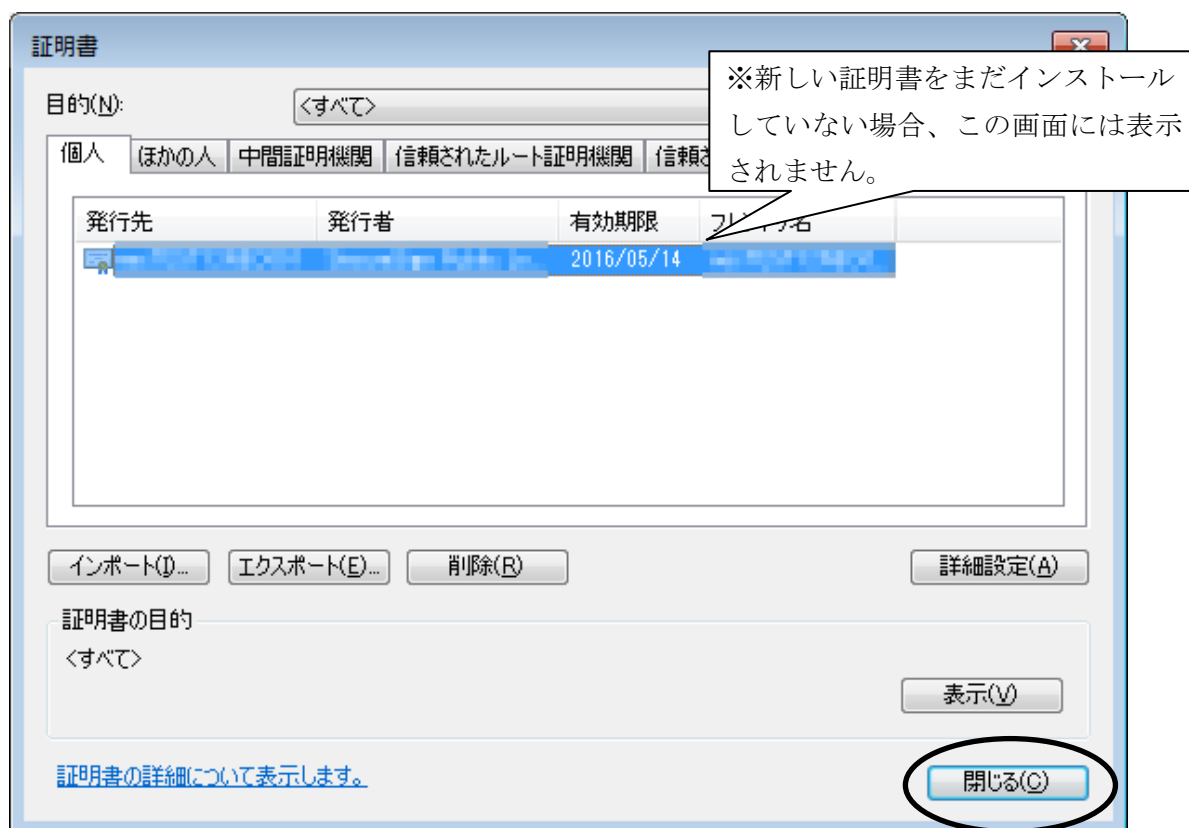
④ 「個人」タブで easyHousing の古い証明書をクリックした後、「削除」ボタンをクリックします。



⑤警告画面では、「はい」をクリックして削除します。



⑥証明書画面に戻った後、「閉じる」ボタンをクリックします。



⑦<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、削除は終了です。

4 インターネットエクスプローラ

本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに自己責任で行ってください。

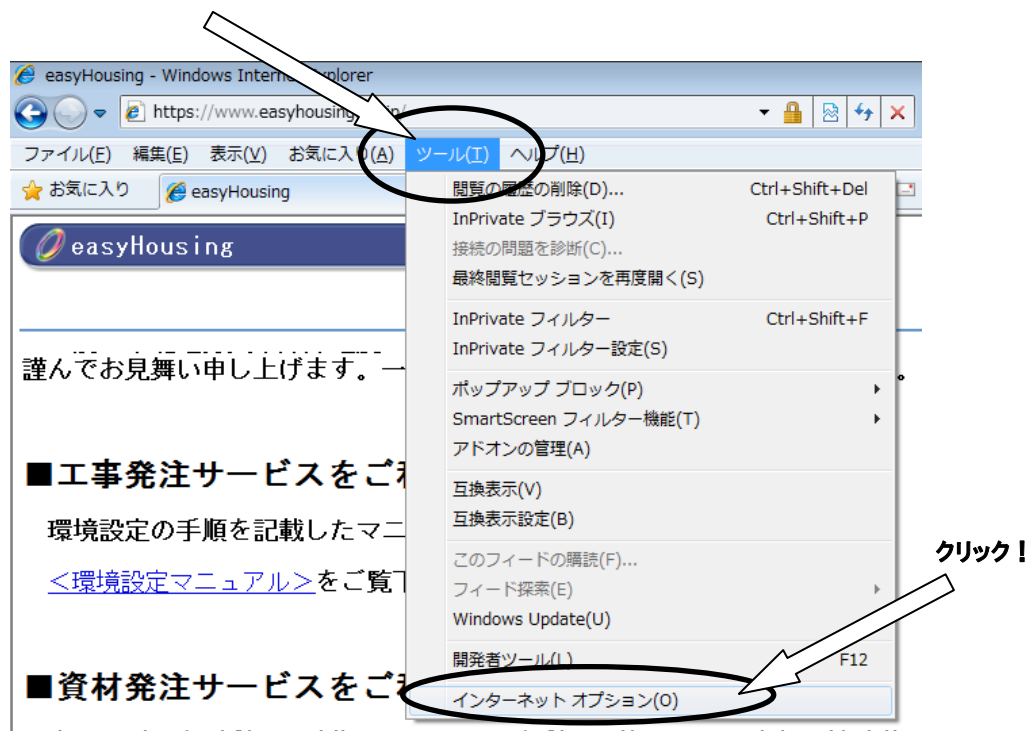
このマニュアルでは、

Internet Explorer 8、Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11
について説明しています。

4.1 Internet Explorer の設定

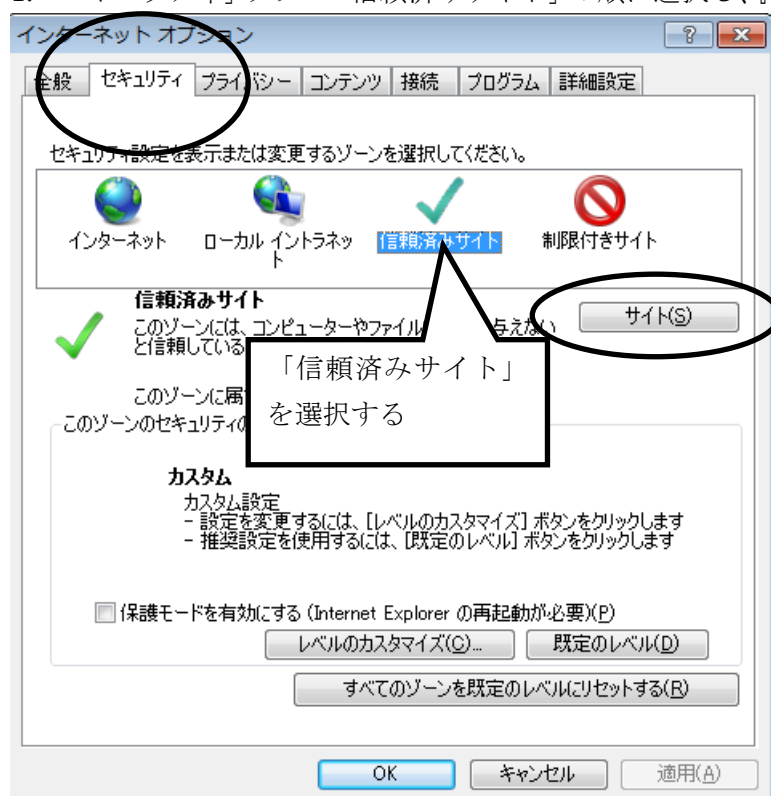
①メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)

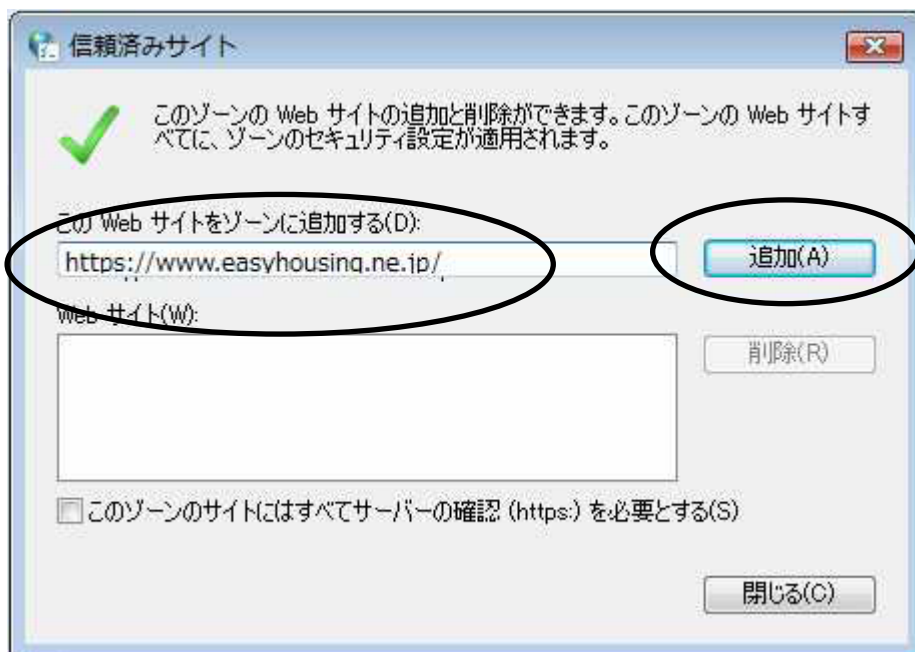


②信頼済みサイトの設定をします。

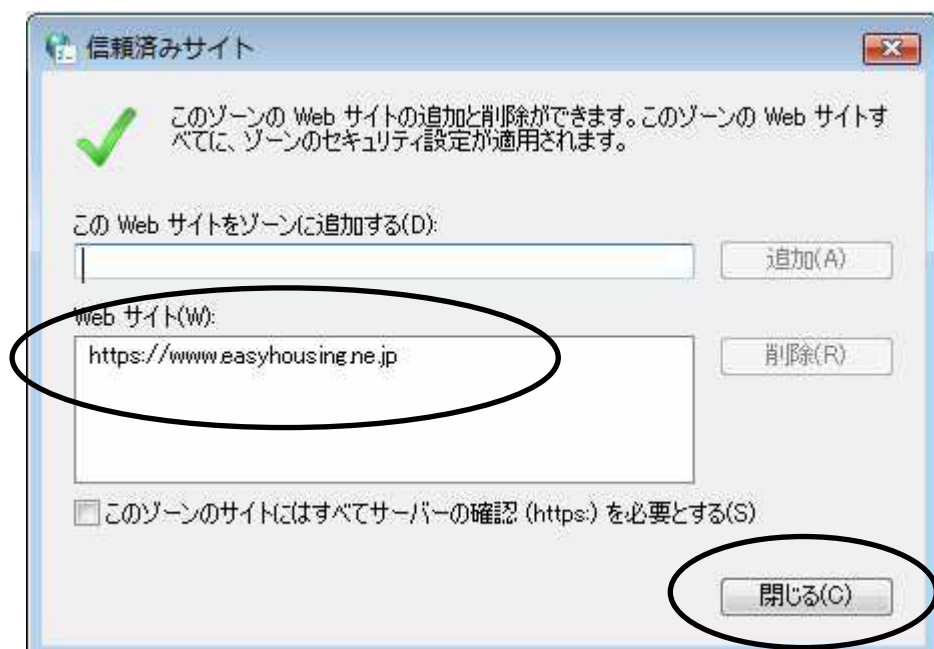
1.「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックして下さい。



2.信頼済みサイトの設定画面が表示されるので、「この Web サイトをゾーンに追加する」に「https://www.easyhousing.ne.jp/」と入力し、「追加」ボタンを押下してください。

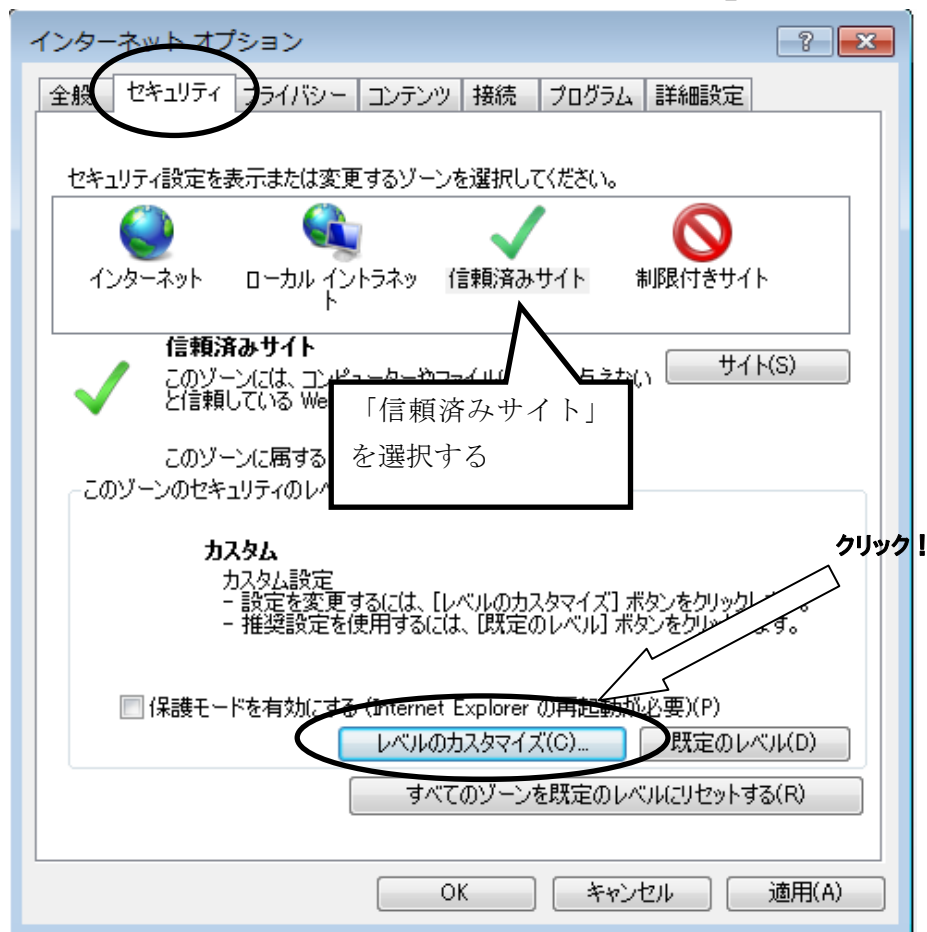


3. 「Web サイト」に「https://www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンを押下してください



③<インターネットオプション>画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

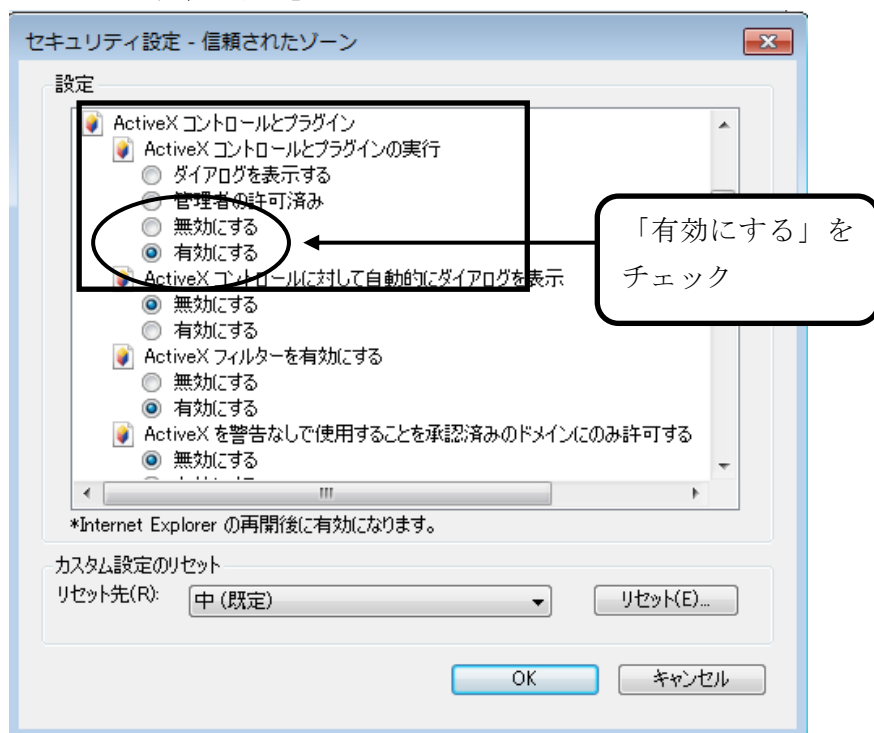
「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックして下さい。



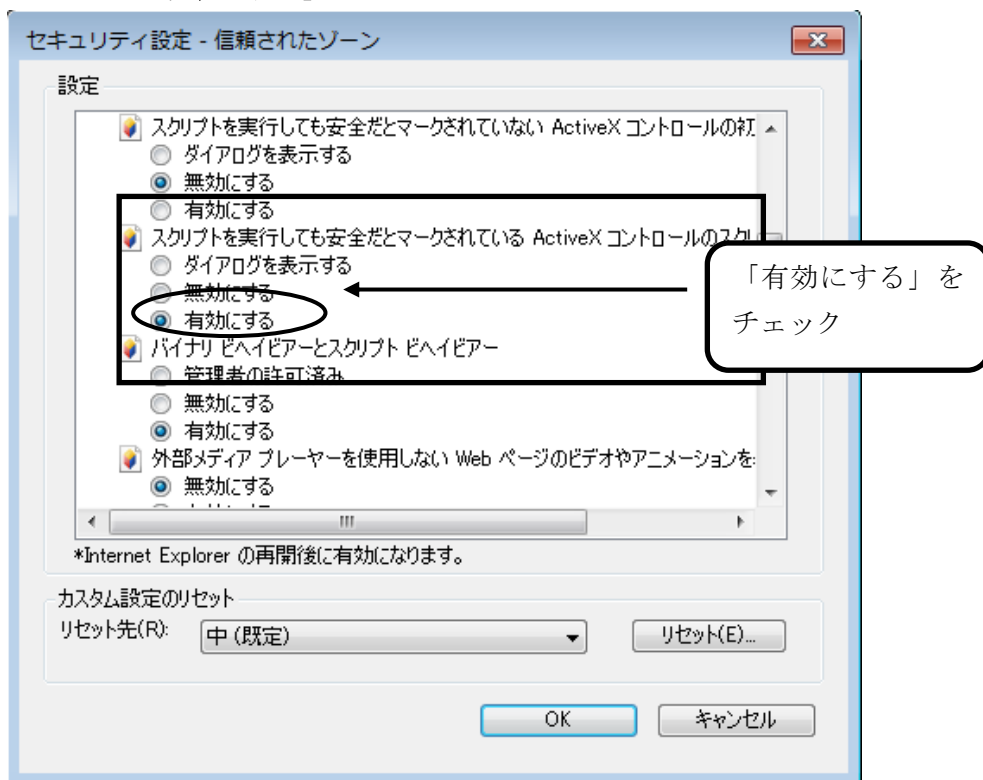
④<セキュリティの設定>画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

→「有効にする」にチェックします。



- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行
→「有効にする」にチェックします。

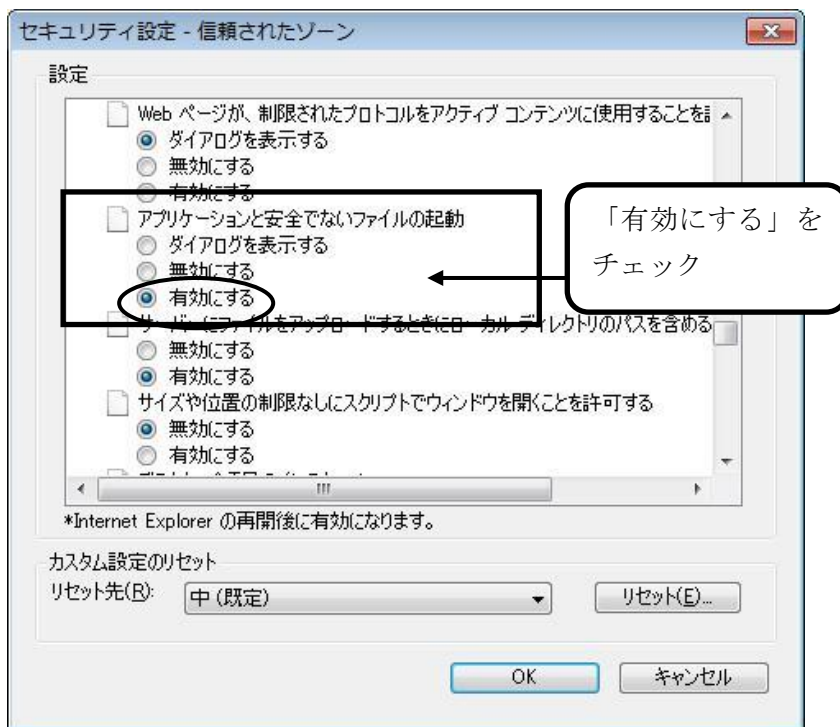


- アクティブスクリプト
→「有効にする」にチェックします。



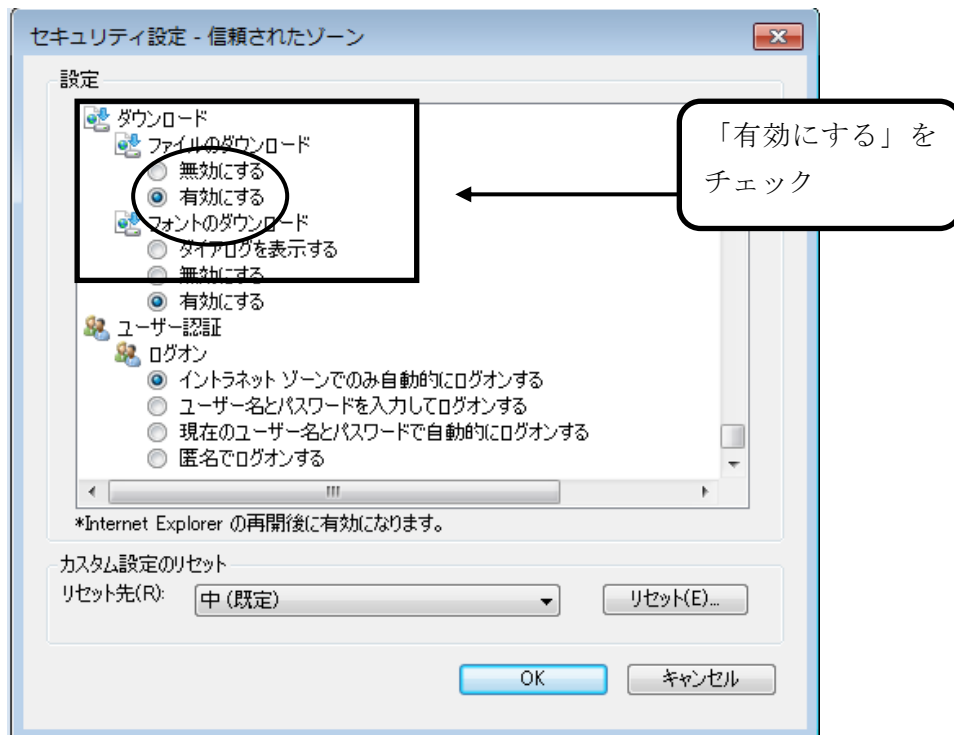
●アプリケーションと安全でないファイルの起動

→「有効にする」にチェックします。



●ファイルのダウンロード

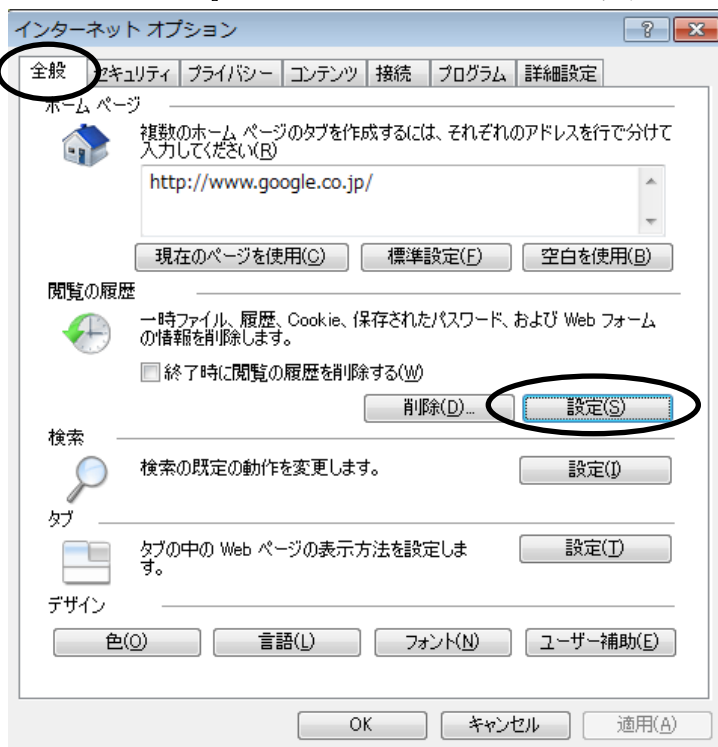
→「有効にする」にチェックします。



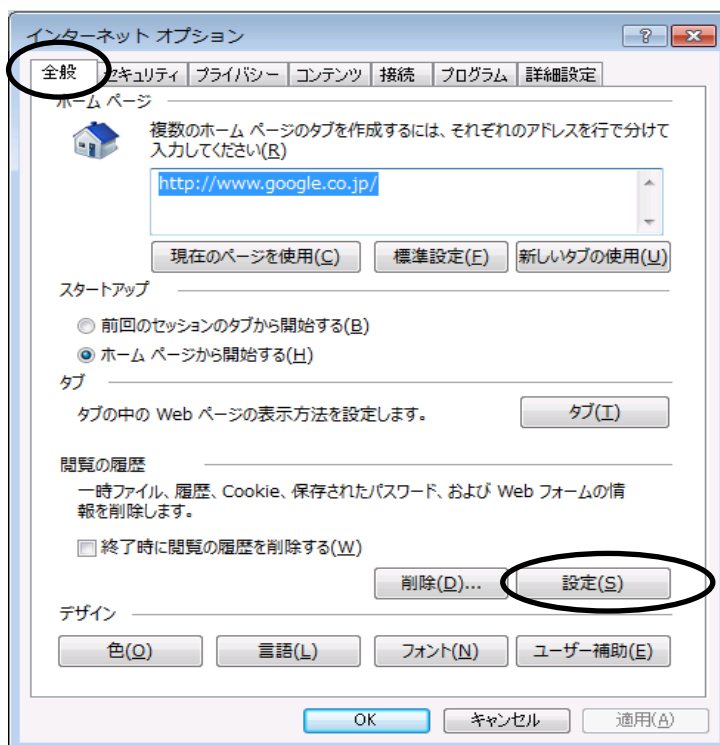
⑤『OK』ボタンをクリックし、＜インターネットオプション＞画面に戻ります。

⑥ [全般] タブを選択し、『閲覧の履歴』の『設定』ボタンをクリックしてください。

(Internet Explorer 11 の場合は、ボタンの位置が異なります。)



(Internet Explorer 11 の場合)

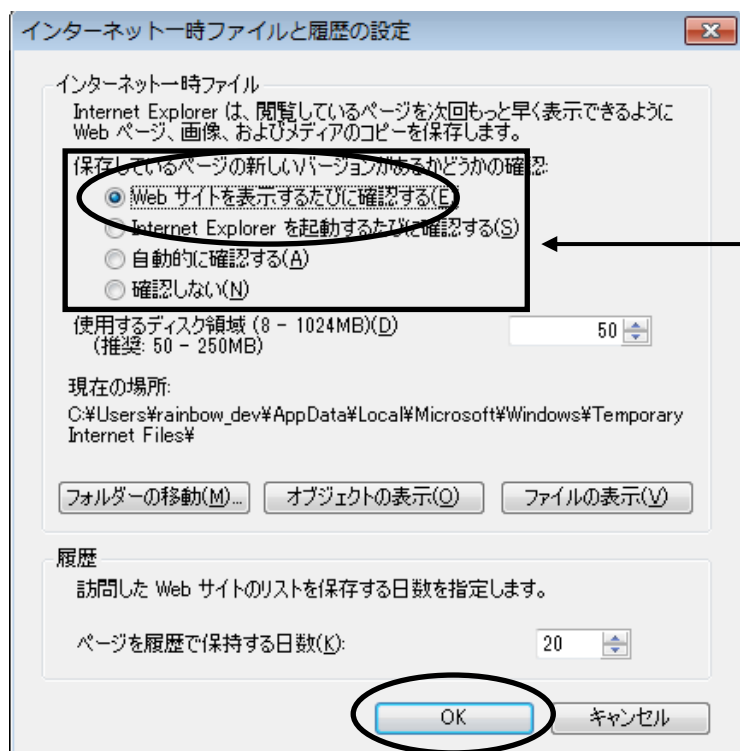


⑦ 「インターネット一時ファイルと履歴の設定」

●保存しているページの新しいバージョンの確認

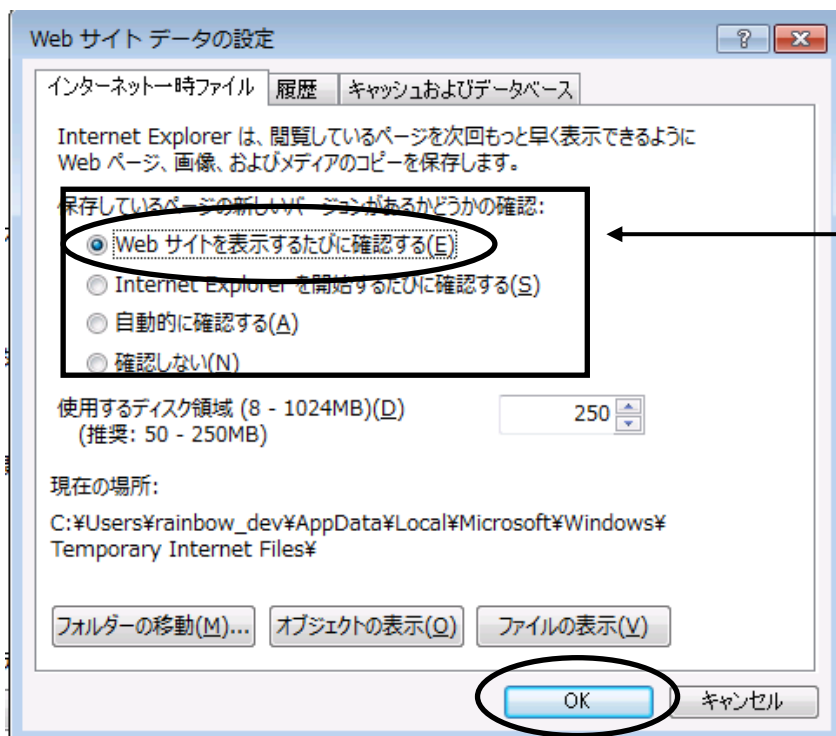
→ 「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。

(Internet Explorer 11 の場合は、画像が異なります。)



「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェック

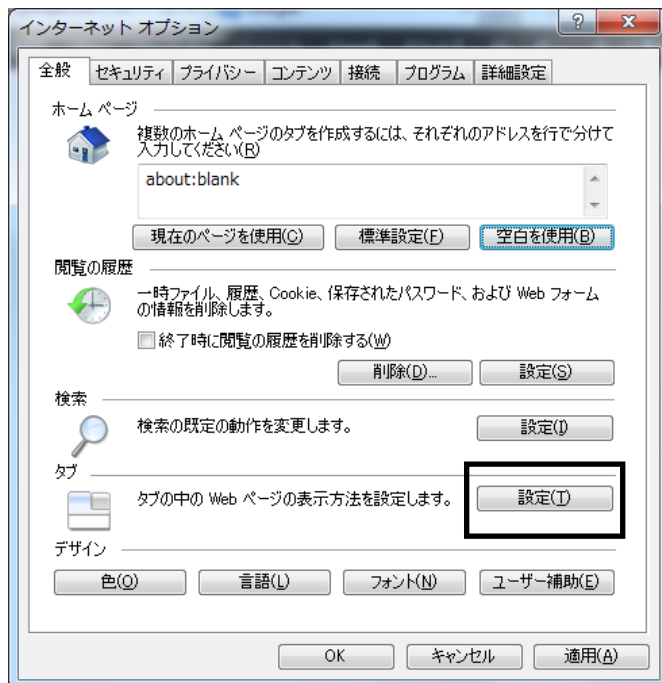
(Internet Explorer 11 の場合)



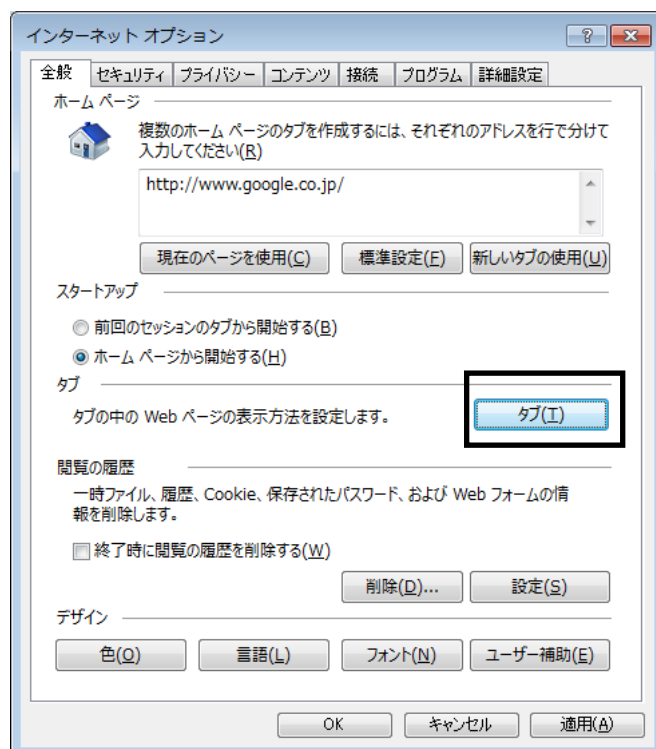
「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェック

⑧ [全般] で、タブの「設定」ボタンをクリックします。

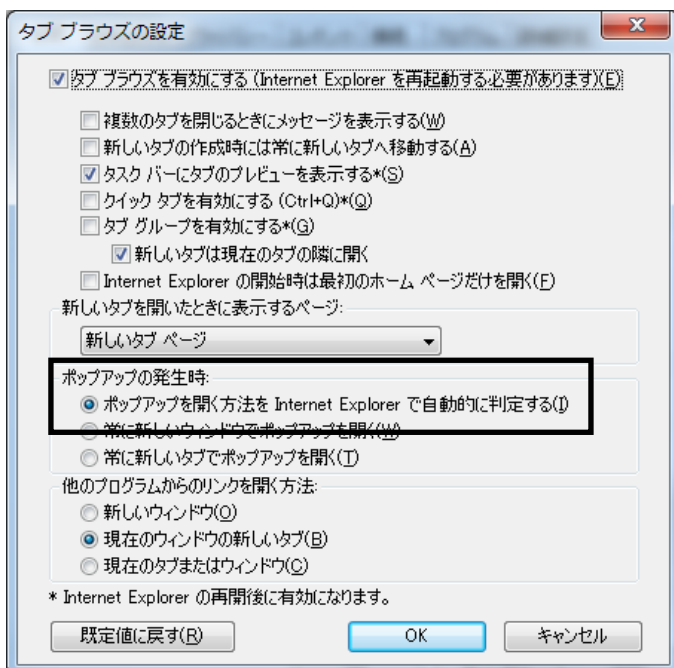
(Internet Explorer 10 の場合は、「タブ」ボタンをクリックします)



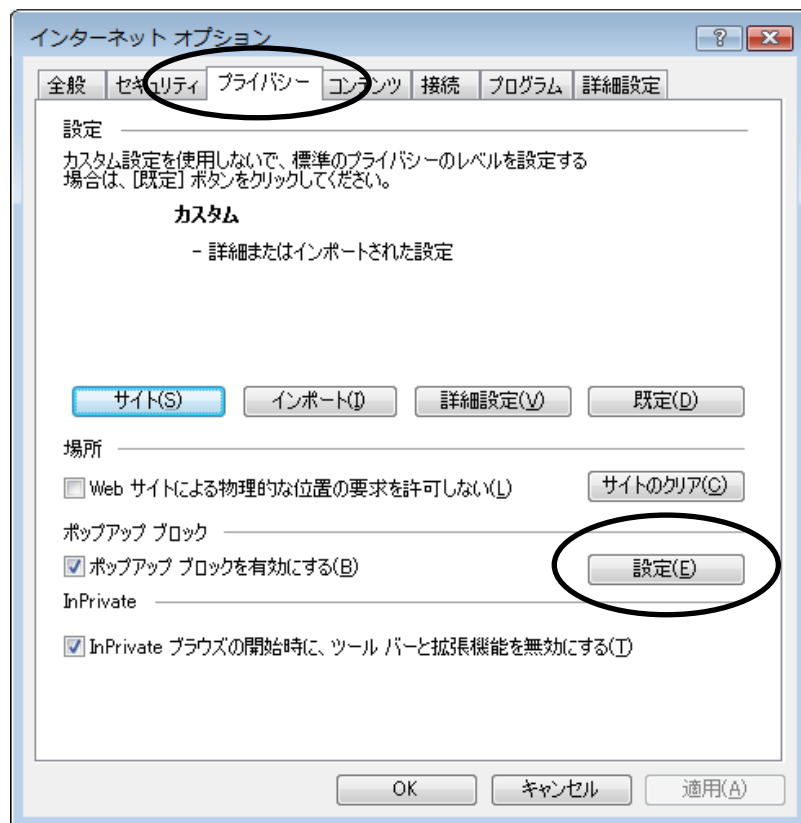
(Internet Explorer 10 の場合)



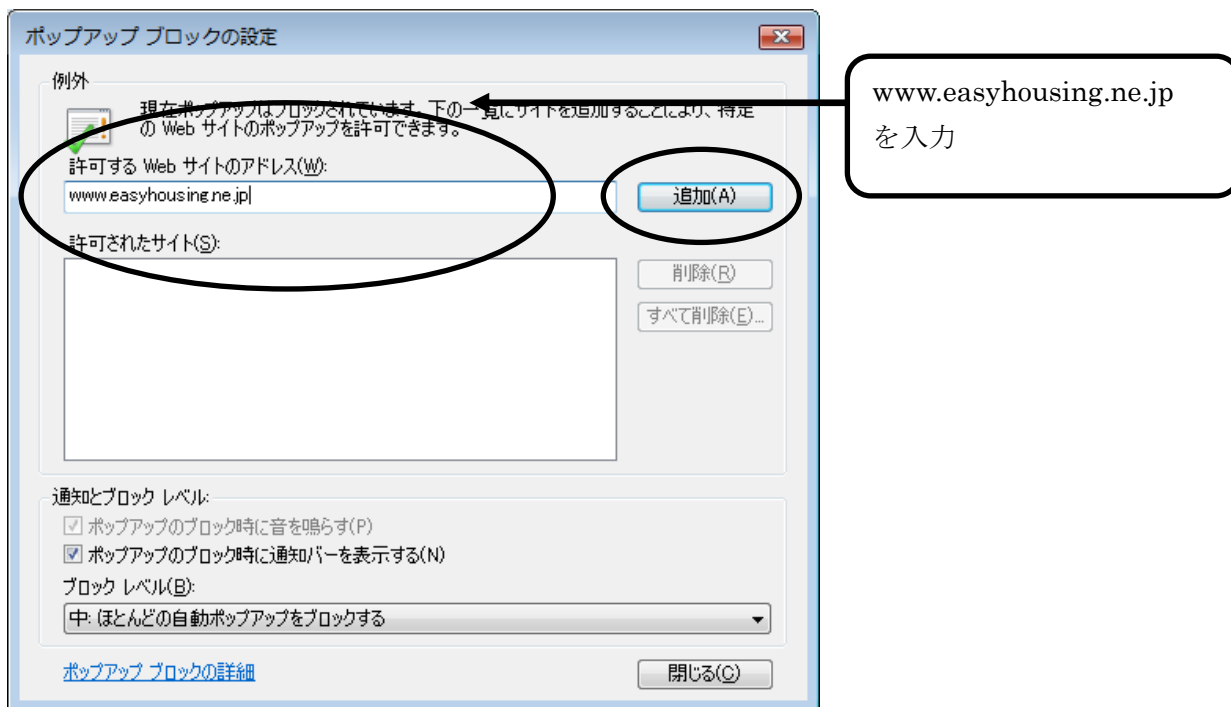
「ポップアップの発生時」で、「ポップアップを開く方法を Internet Explorer で自動的に判定する」に変更します。



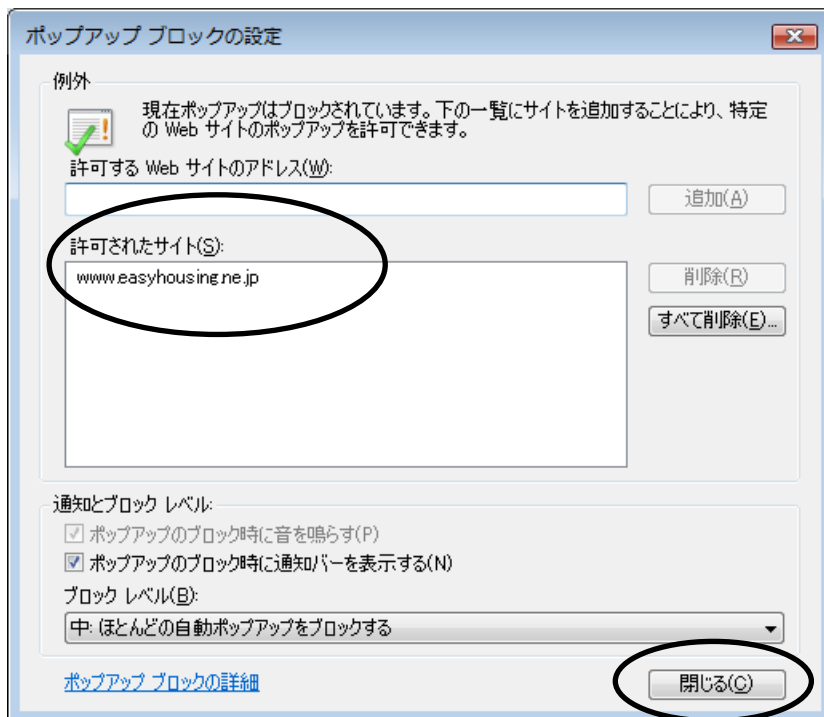
- ⑨ 「プライバシー」タブを選択し、「ポップアップブロック」の「設定」ボタンをクリックしてください。



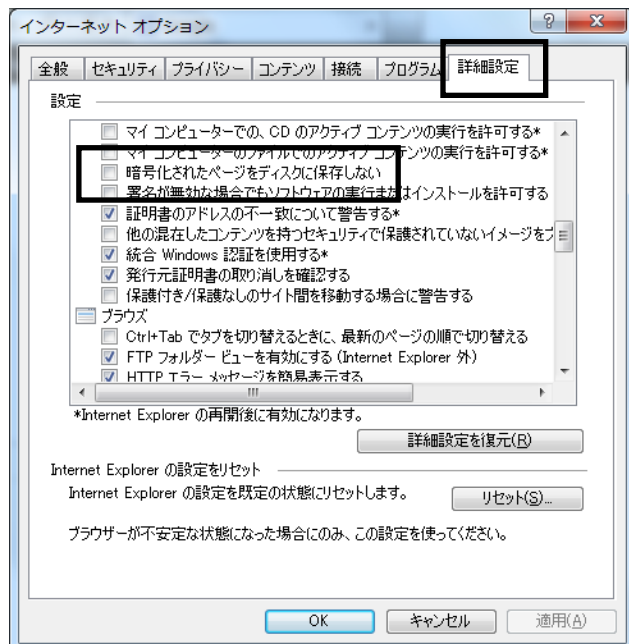
「許可する Web サイトのアドレス」に、「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



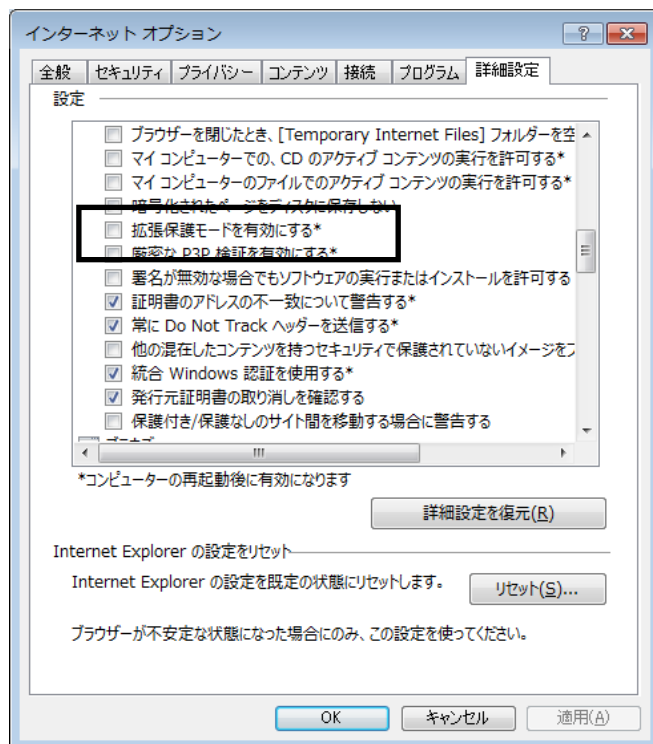
「許可されたサイト」に「www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。



- ⑩ インターネットオプションの「詳細設定」で、
「暗号化されたページをディスクに保存しない」にチェックがあった場合は
チェックを外します。



また、「拡張保護モードを有効にする」にチェックがあった場合は
そのチェックも外します。(OS が 32bit、または Internet Explorer の
バージョンが 9 以前の場合は項目が無い場合、設定は不要です。)



- ⑪ 『OK』 ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

5 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中に電源を切らないでください

本書の手順以外でインストールした場合、動作の保証はできません。

5.1 JRE のインストール

◆JRE のインストール手順を説明します。

このマニュアルでは、JRE1.8 の場合について説明致します。

※:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が
画像と異なる場合があります。

①JRE をダウンロードします。

以下の URL にアクセスします。

http://java.com/ja/download/windows_offline.jsp

『同意して無料ダウンロードを開始』をクリックします。



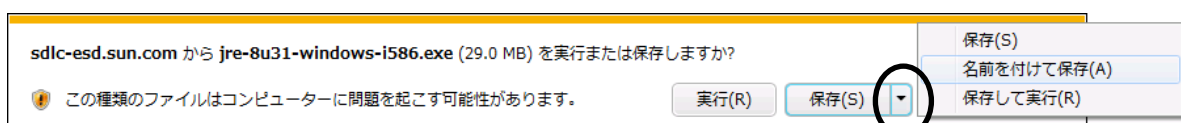
(Internet Explorer 8 の場合)

『保存』を選択し、デスクトップなど任意の場所に保存します。



(Internet Explorer 9/10 の場合)

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」で、デスクトップなど任意の場所に保存します。



※ダウンロードするファイルは、ダウンロードを行う時点での最新バージョンとなるため、ファイル名が上記画像と異なる場合があります。

②インターネットエクスプローラなどすべてのアプリケーションを閉じます。

JRE のインストール手順は以下を参照してください。

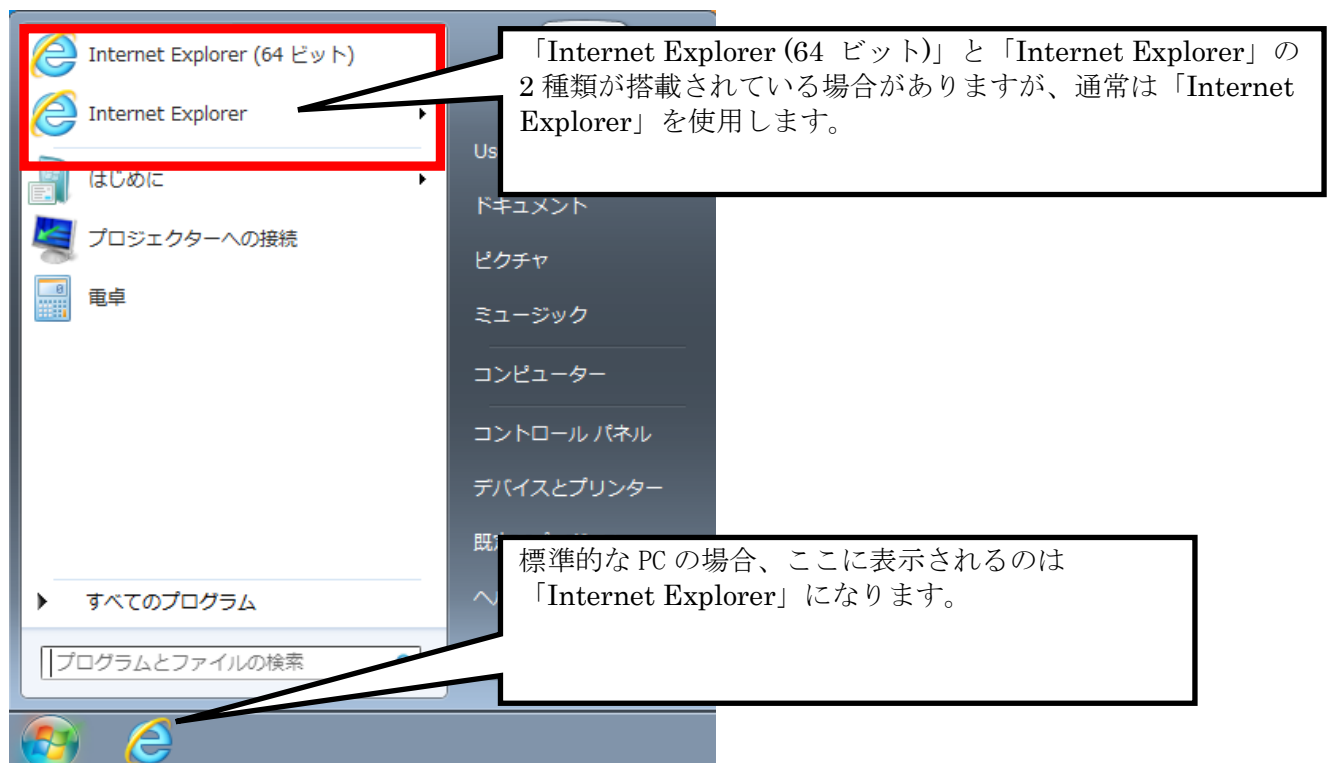
★注意★

インターネットエクスプローラを起動したままインストールした場合、再起動させるまで **JAVA** のインストールが有効になりません。

※参考情報

上記以外の Java のホームページからは Windows オフライン (32 ビット)の他に Windows オフライン (64 ビット)もダウンロード可能ですが、Internet Explorer の仕様上、Windows オフライン (64 ビット)が使用されるのは以下の場合に限られます。

- ・ OS が Windows7(64 ビット)
- ・ Internet Explorer のバージョンが 8 または 9
- ・ インストールされている電子署名ライブラリのバージョンが 1.02 以降
- ・ メニューから「Internet Explorer」ではなく「Internet Explorer (64 ビット)」を指定



5.1.1 JRE1.8 のインストール手順

①保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



②<Java のセットアップ>画面が表示されます。

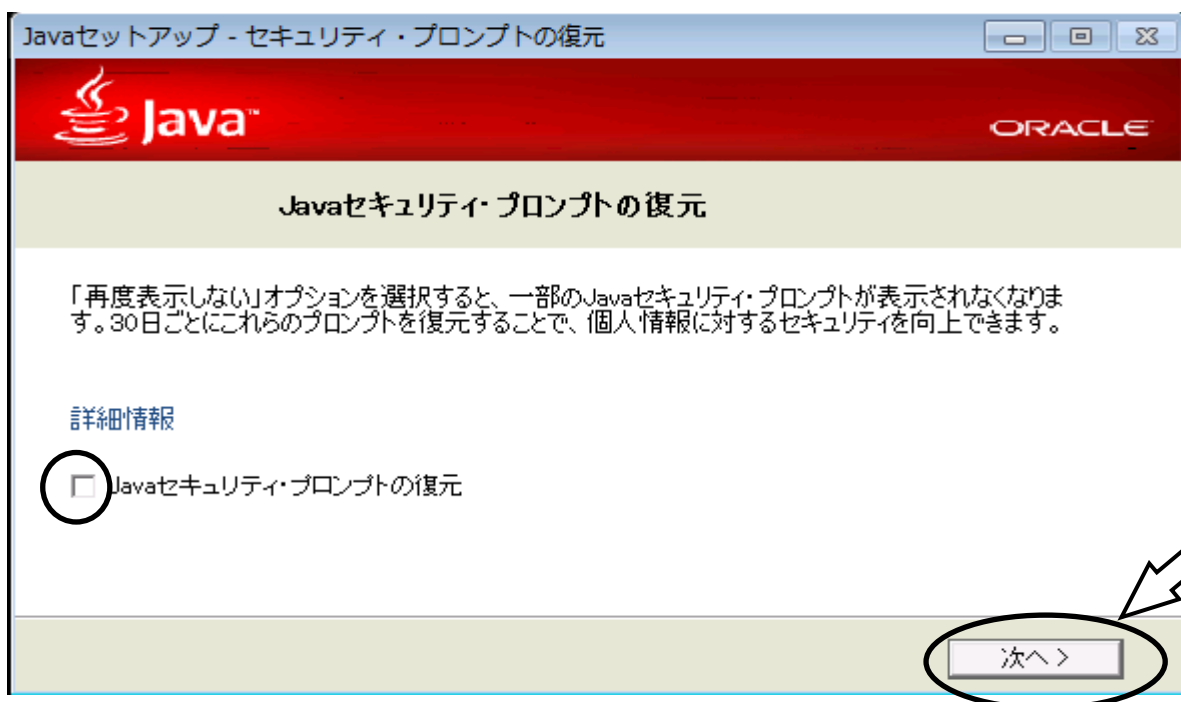
ライセンス契約を読み終えたら、「インストール」ボタンをクリックして、次に進みます。



③<セットアップ - 進捗>画面が表示されます。

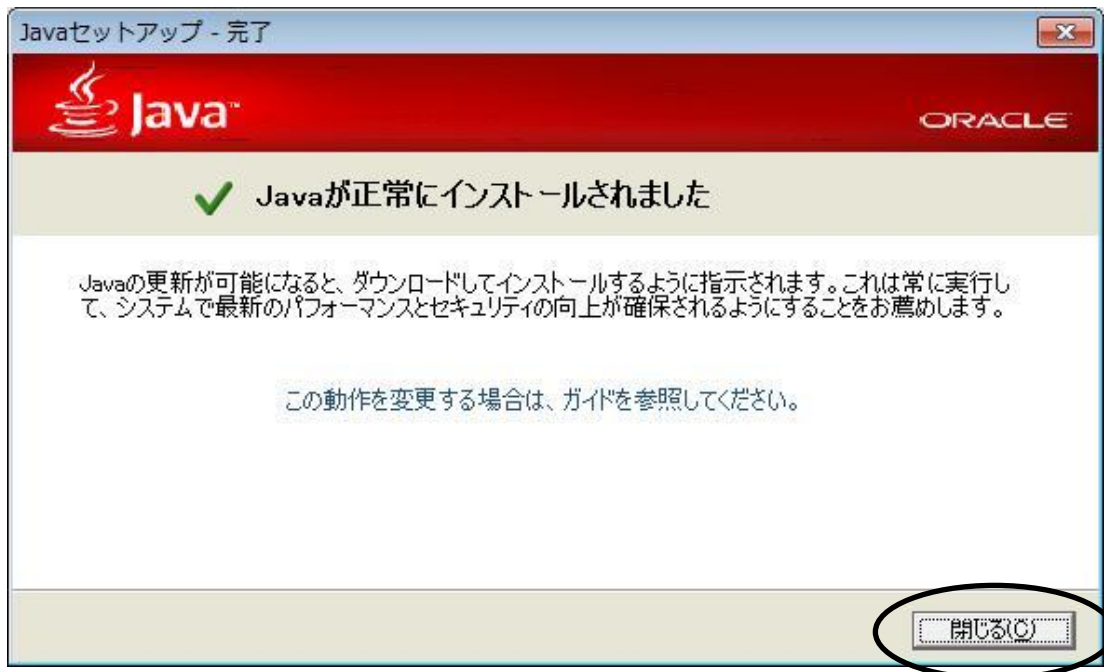


※<セキュリティ・プロンプトの復元>画面が表示された場合、
チェックを外して『次へ >』ボタンをクリックしてください。



④<セットアップ - 完了>画面が表示されます。

『閉じる』ボタンをクリックします。



5.2 easyHousing 電子署名ライブラリ

5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード

ダウンロード手順

◆easyHousing 電子署名ライブラリのダウンロード手順を説明します。

- ① インターネットエクスプローラを立ち上げアドレスバーに easyHousing のURLを入力します。



- ②Enterキーを押下するとお知らせ画面が表示され、15秒経過するとログイン画面が表示されます。

※お知らせ画面は閉じないで下さい

ログイン画面では「企業管理コード（12桁）」と「ユーザーID」「パスワード」を入力することにより認証を行います。

企業コード、ログインID、パスワードを入力し、ログインします。



※電子証明書ライブラリがインストール済みの場合(アップグレードなど)

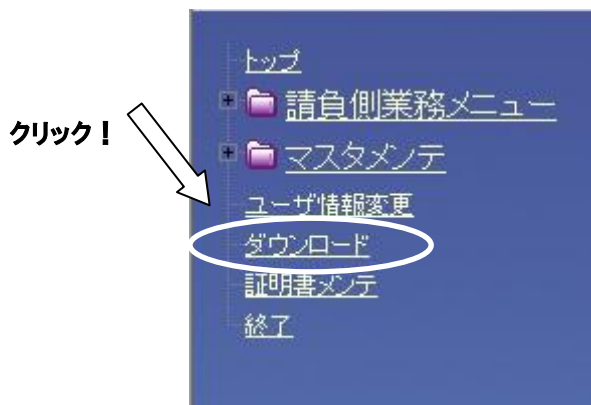
以下のような画面が表示された場合は、次の手順を実行して下さい。

- ①『この発行者および前述の場所からのアプリケーションでは、次回から表示しない』
をチェックします。
- ②『実行』ボタンをクリックします。

※環境によって、画面や文章が一部異なる場合があります。



③メニューから【ダウンロード】を選んでください。



④＜ダウンロード＞画面が表示されます。

「電子署名ライブラリセットアップファイル」右の「download」という文字をクリックします。



⑤<ファイルのダウンロード>画面が表示されます。

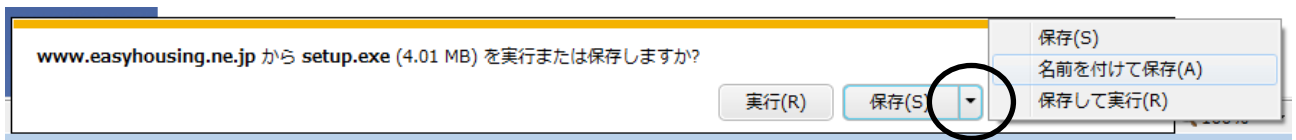
(Internet Explorer 8 の場合)

『保存』ボタンをクリックしてください。

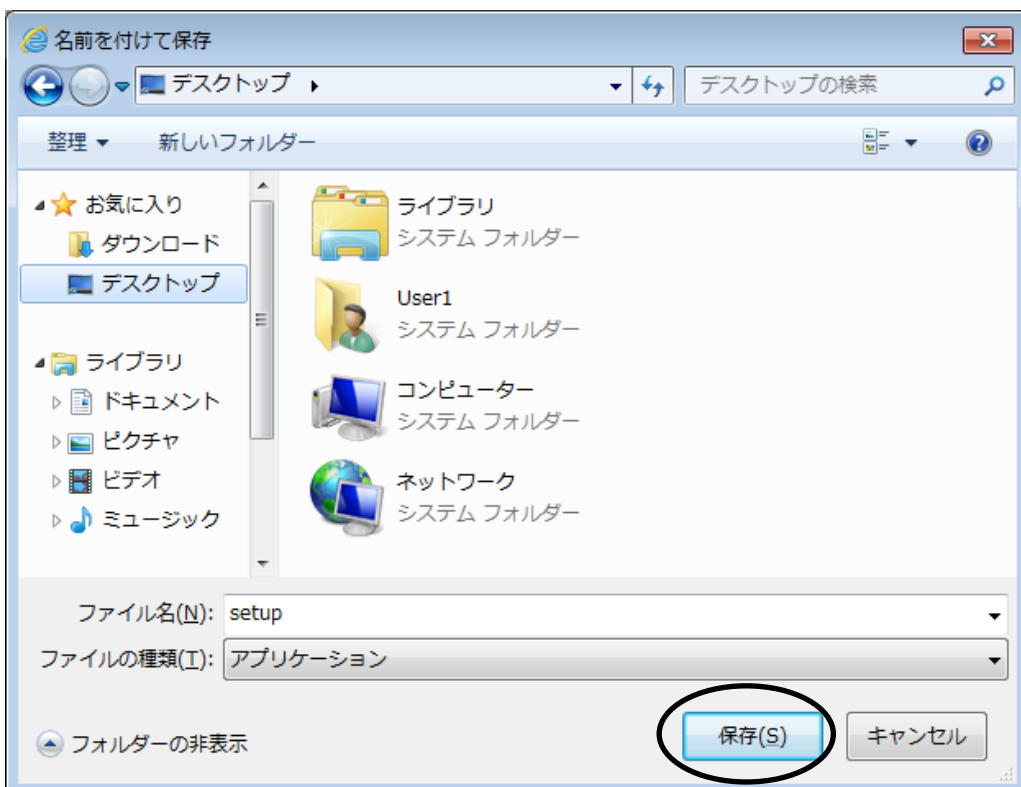


(Internet Explorer 9/10 の場合)

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」をクリックしてください。

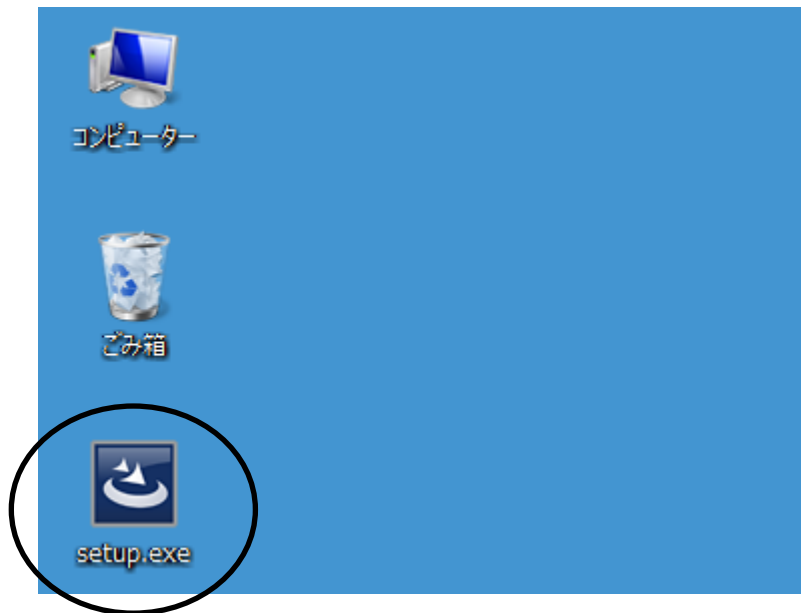


⑥<名前を付けて保存>画面が表示されます。デスクトップなど任意の場所へ保存してください。



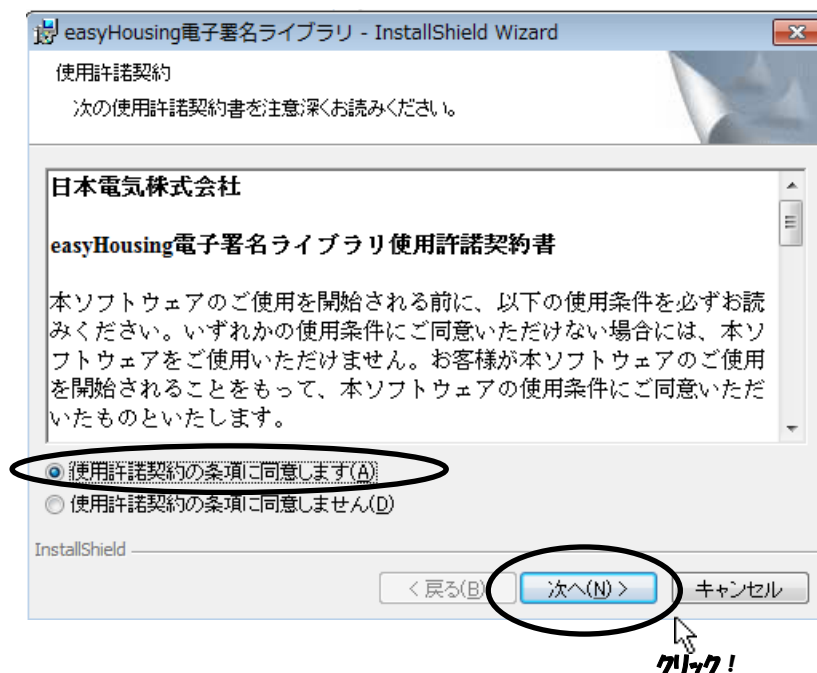
5.2.2 電子署名ライブラリのインストール

- ①「5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード」でダウンロードしたファイル「setup.exe」をダブルクリックし、セットアップを開始します。

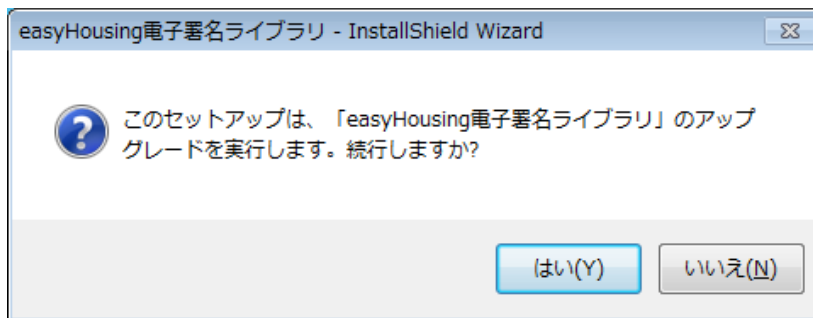


- ②InstallShield Wizard が起動します。

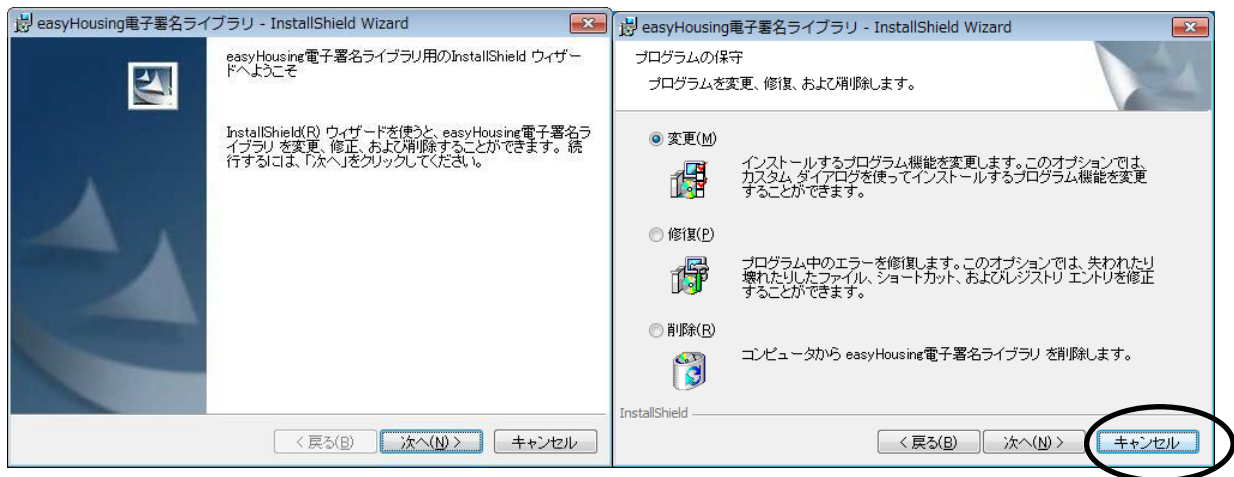
- 初めて電子署名ライブラリをインストールする場合、＜使用許諾契約＞の画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、『次へ』ボタンをクリックします。



※アップグレードの確認画面が表示された場合は、56 ページ「補足 2.2 電子署名ライブラリ アップグレード手順」を参照して下さい。



※変更、修正(修復)、および削除の画面が表示された場合、電子署名ライブラリはインストール済ですので『キャンセル』ボタンをクリックして下さい。(電子署名ライブラリをアンインストールする場合は、48 ページ「補足 1.2 電子署名ライブラリ アンインストール手順」を参照して下さい)



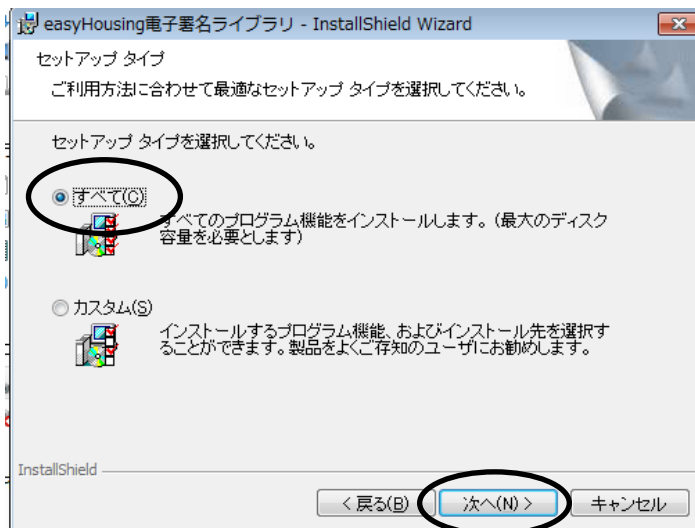
③<セットアップタイプ>の画面が表示されます。

セットアップタイプ「すべて」（通常）か、「カスタム」を選択したら『次へ』ボタンをクリックします。

- 通常は「すべて」を選択します。その場合インストール先はデフォルトで

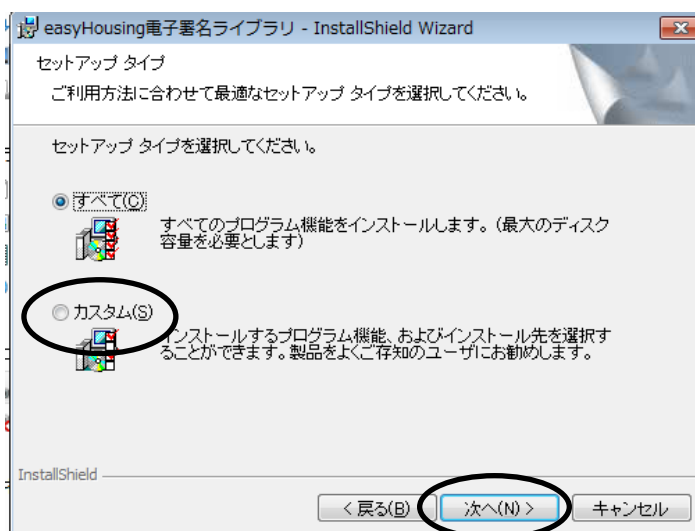
“C:\¥Program Files¥NEC¥jasp” となります。

⇒「すべて」を選択した場合、手順⑦へ進みます。



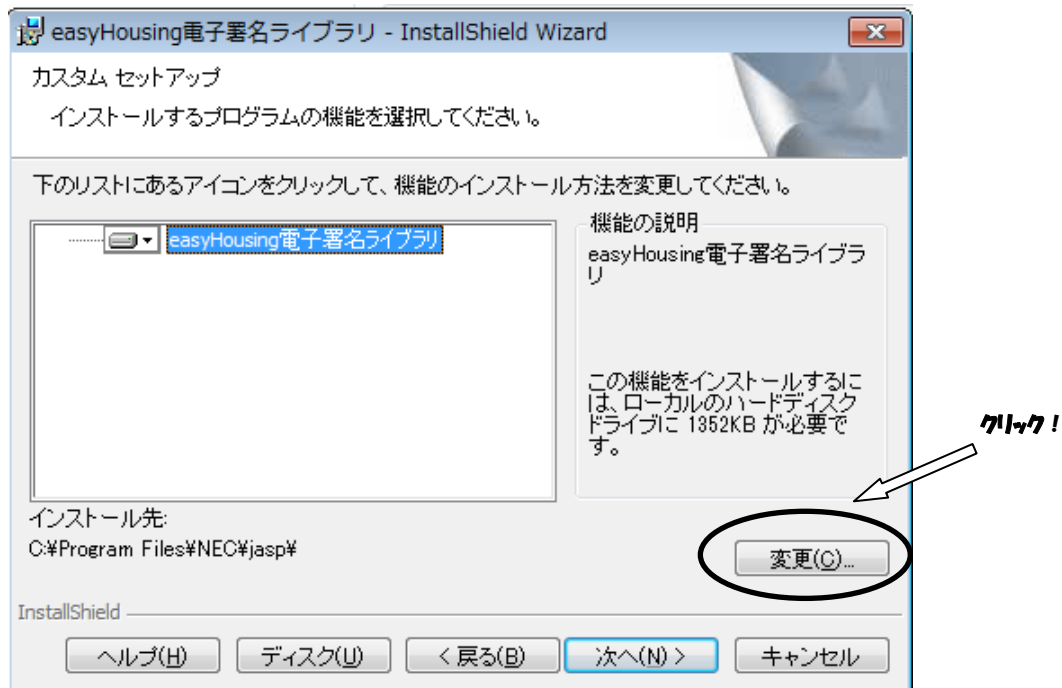
手順⑦へ進んでください。

- 「カスタム」を選択した場合、インストール先のフォルダをデフォルト以外に指定することができます。

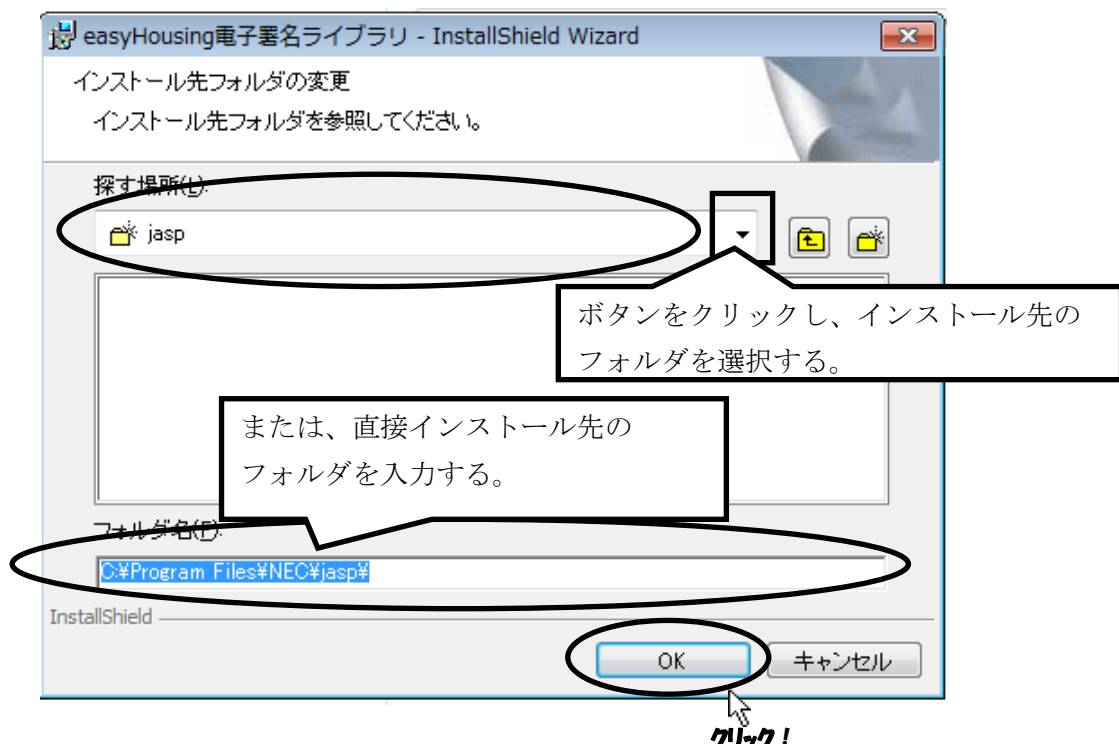


手順④へ進んでください。

- ④<カスタムセットアップ>画面が表示されます。(手順③で「カスタム」を選択した場合)
『変更』ボタンをクリックします。

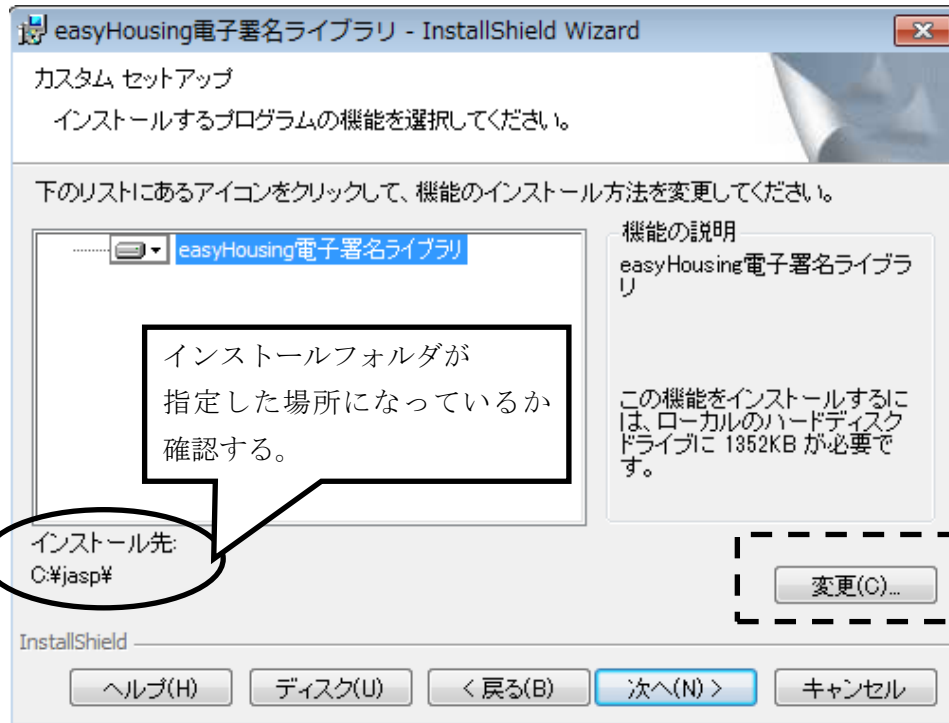


- ⑤<インストール先フォルダの変更>画面が表示されます。
「探す場所」プルダウンメニューからインストールフォルダを指定するか、または
「フォルダ名」の枠内に直接インストールフォルダの場所を入力し『OK』ボタンを
クリックします。



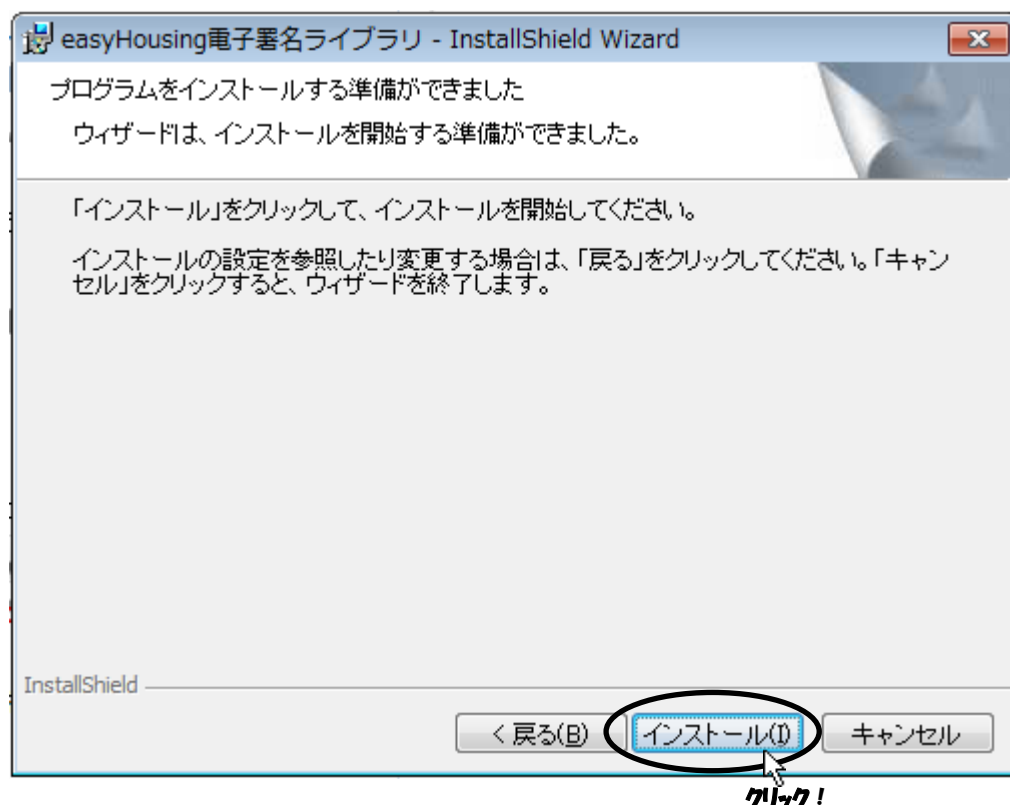
⑥<カスタムセットアップ>画面が表示されます。

「インストール先」が変更されていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。
再度、インストール先を変更する場合は『変更』ボタンをクリックし、手順⑤へ戻ります。

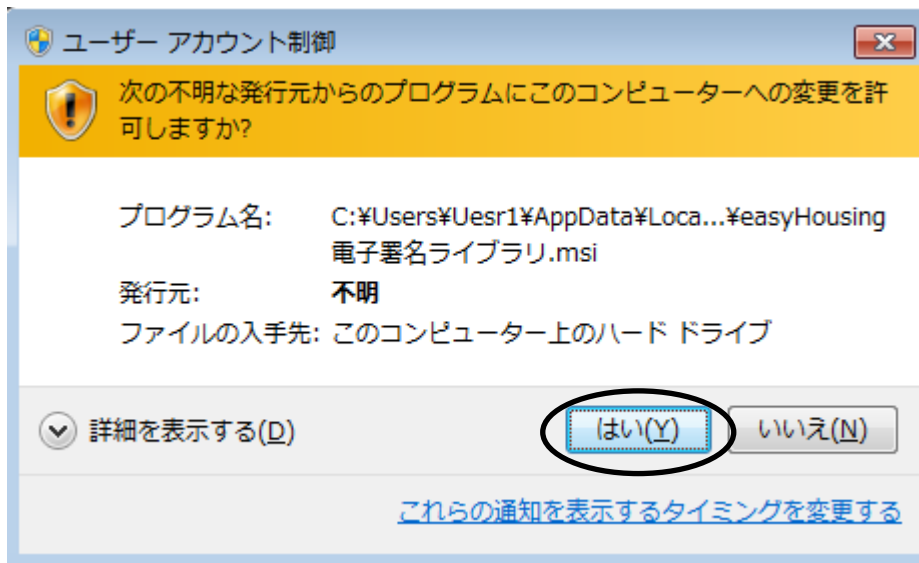


⑦<プログラムをインストールする準備ができました>画面が表示されます。

『インストール』ボタンをクリックし、インストールを開始します。

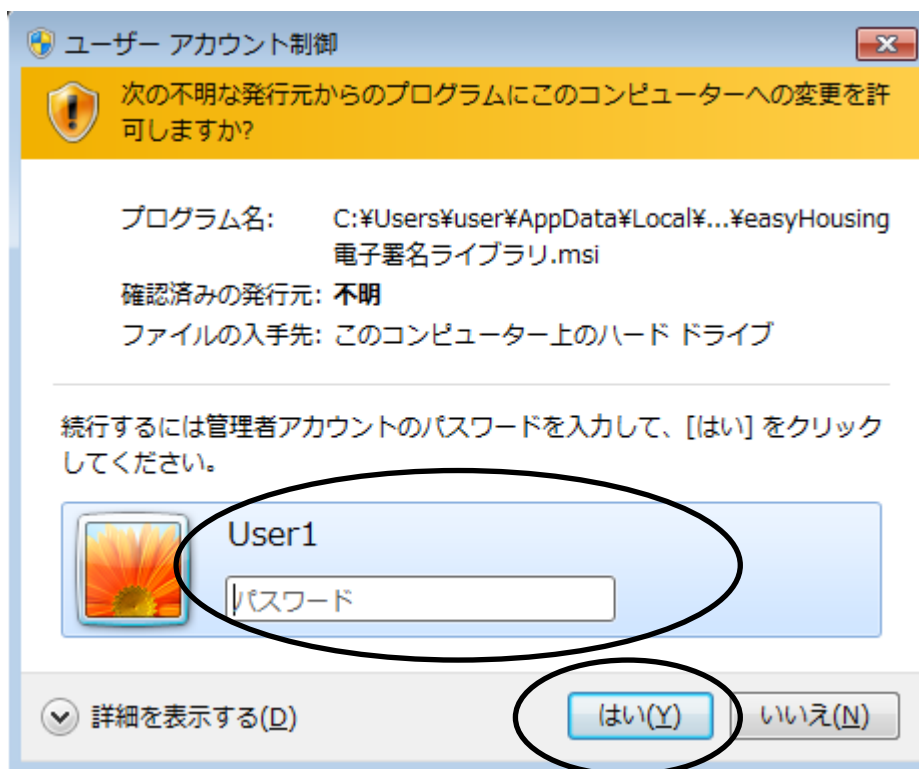


以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

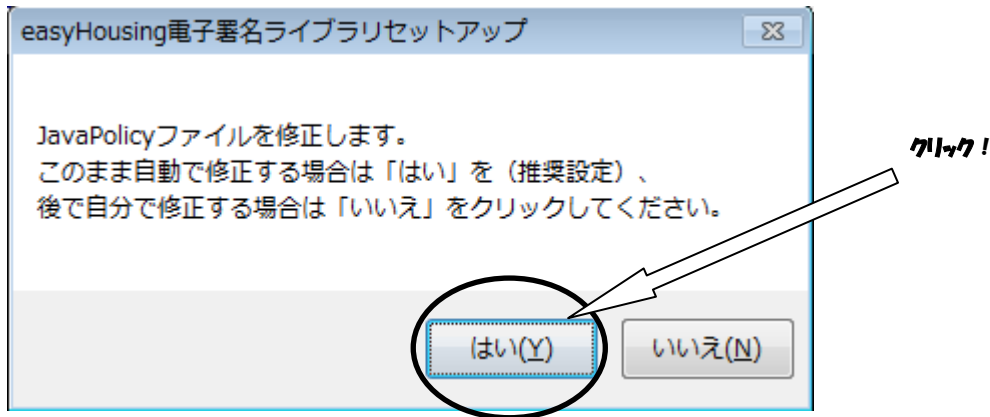


(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



- ⑧インストール中に「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログが表示されます。
通常は『はい』ボタンをクリックし、修正を行います。
『いいえ』を選択した場合は、インストール後自分で修正します。

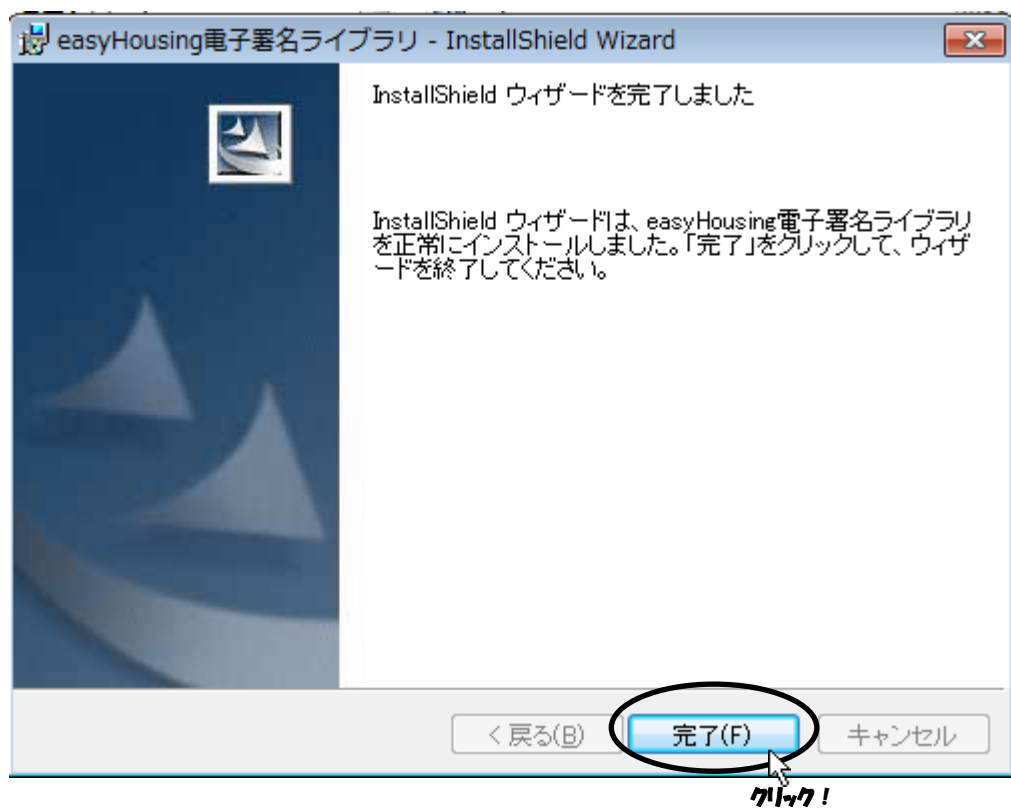


- 「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログで『いいえ』を選択しインストール後に「Javapolicy ファイル」を修正する場合は、以下の記述を追加します。
*JavaPolicy ファイルはユーザのフォルダにあります。(C:¥Users¥(ユーザ名))

> 記述内容 <

```
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
```

- ⑨<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックし、インストール作業は終了です。



5.3 Adobe Reader のインストール

Adobe Reader のインストール手順については、以下の URL をご覧下さい。

<http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/cg10181859.html>

上記、URL 内にある「B. Windows 版 Adobe Reader XI のインストール」の手順通りにお進みください。インストーラーは丸で囲ったリンクよりダウンロードをお願いいたします。

B. Windows 版 Adobe Reader XI のインストール

[先頭へ](#)

1. 以下のリンクをクリックし、ファイルをデスクトップなどの分かりやすい場所に保存します。

[Windows 版 Adobe Reader XI インストーラー](#)

2. ダウンロードした AdbeRdr11000_ja_JP.exe ファイルをダブルクリックします。

※ ユーザーアカウント制御ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。



AdbeRdr11000_ja
_JP.exe

以上で、本サービス利用にあたっての環境設定はすべて終了となります。

補足1 必要ソフトウェアのアンインストール手順

この章では、各ソフトウェアのアンインストール手順を説明します。

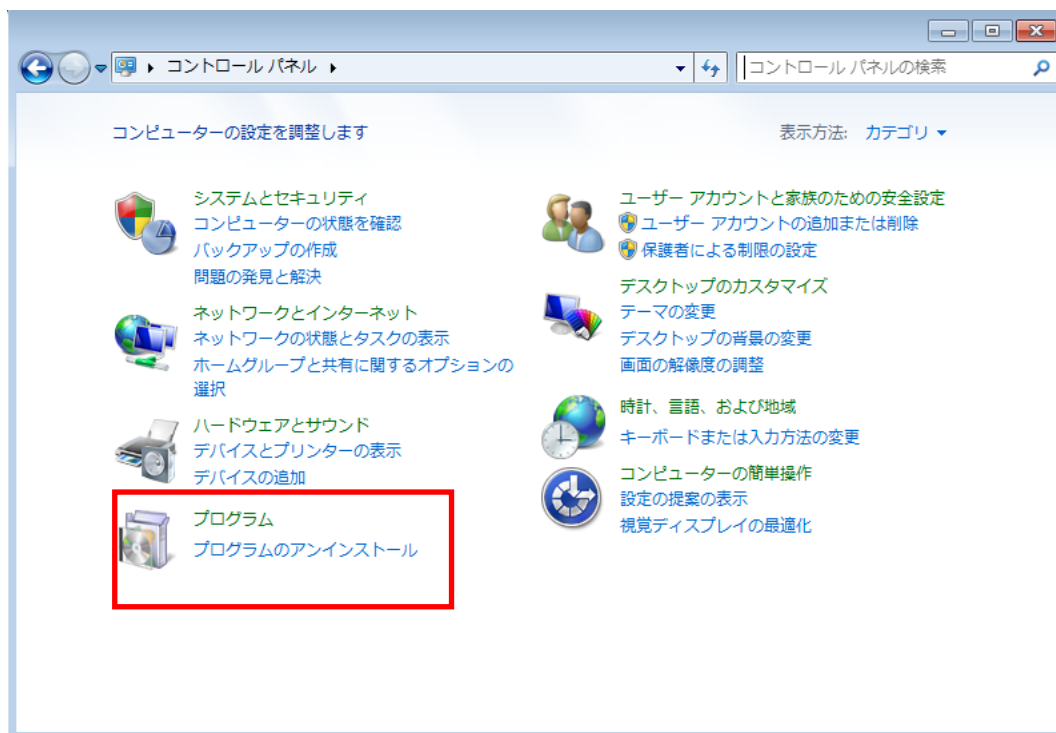
インストールが正常に行われず、再インストールが必要になった場合などに参照して下さい。

補足1.1 Java アンインストール手順

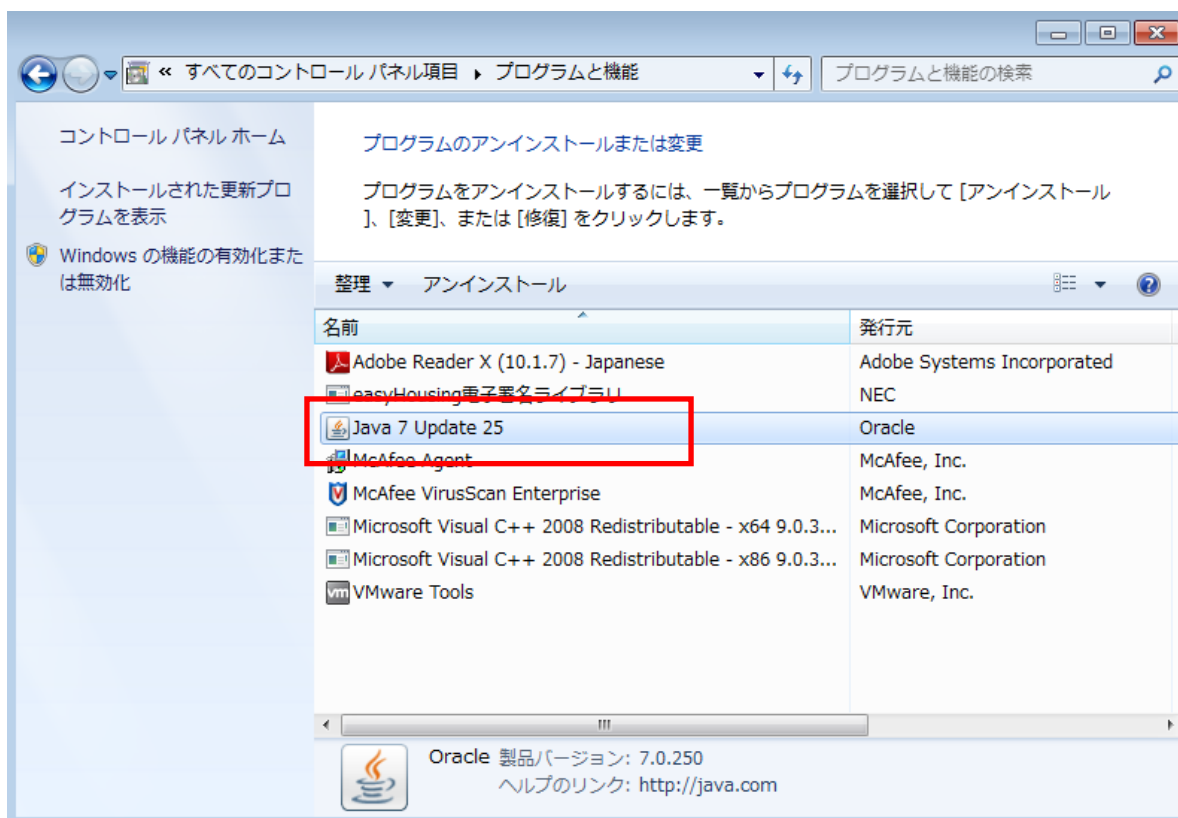
①「スタート」→「コントロール パネル」をクリックし、表示方法を「カテゴリ」にします。



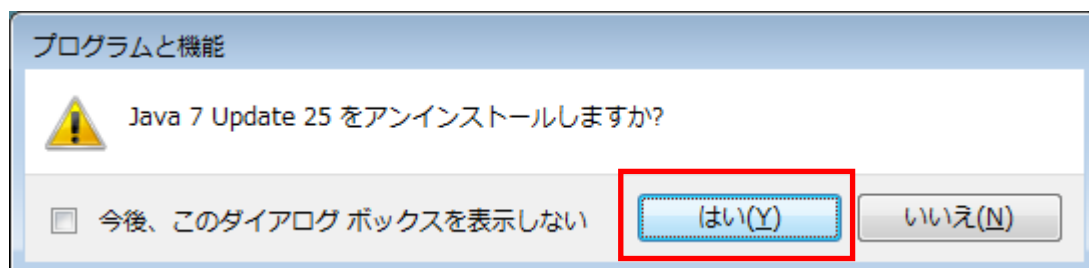
②「プログラムのアンインストール」をクリックします。



③Java (複数表示されていた場合は、バージョンの古いもの)をダブルクリックします。



④「プログラムと機能」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

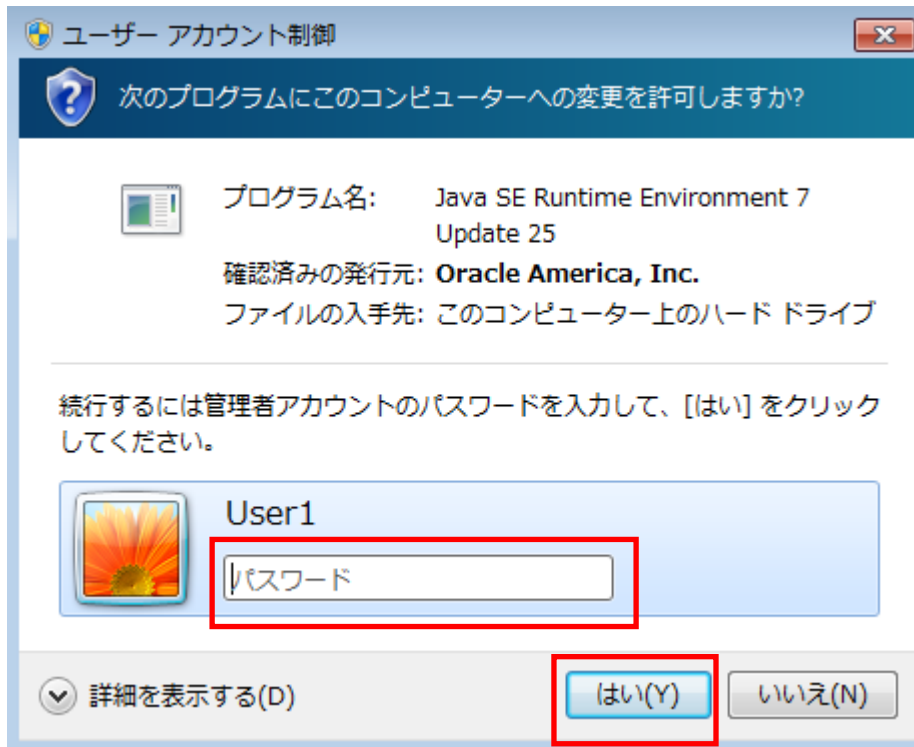


以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



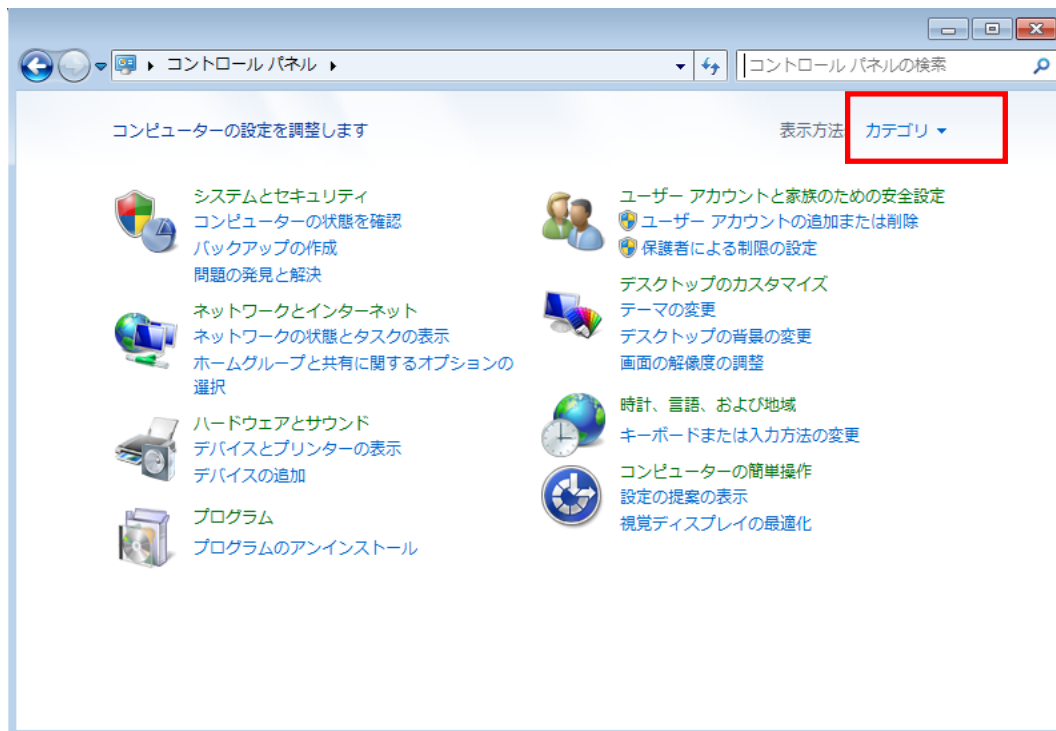
(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。

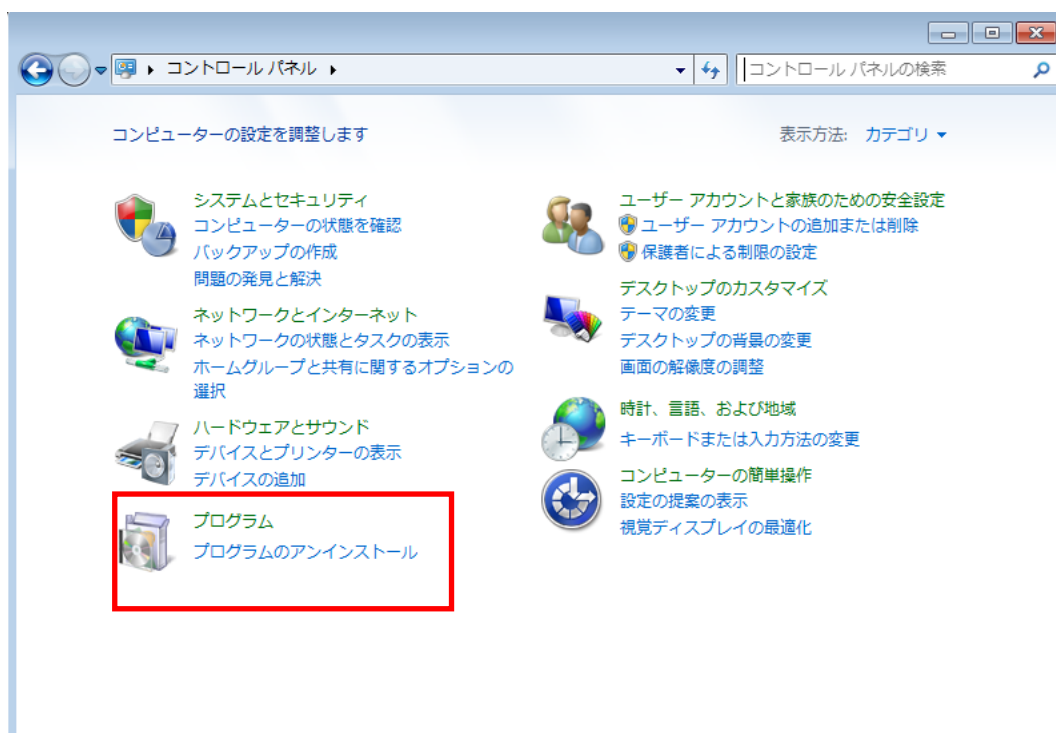


補足1.2 電子署名ライブラリ アンインストール手順

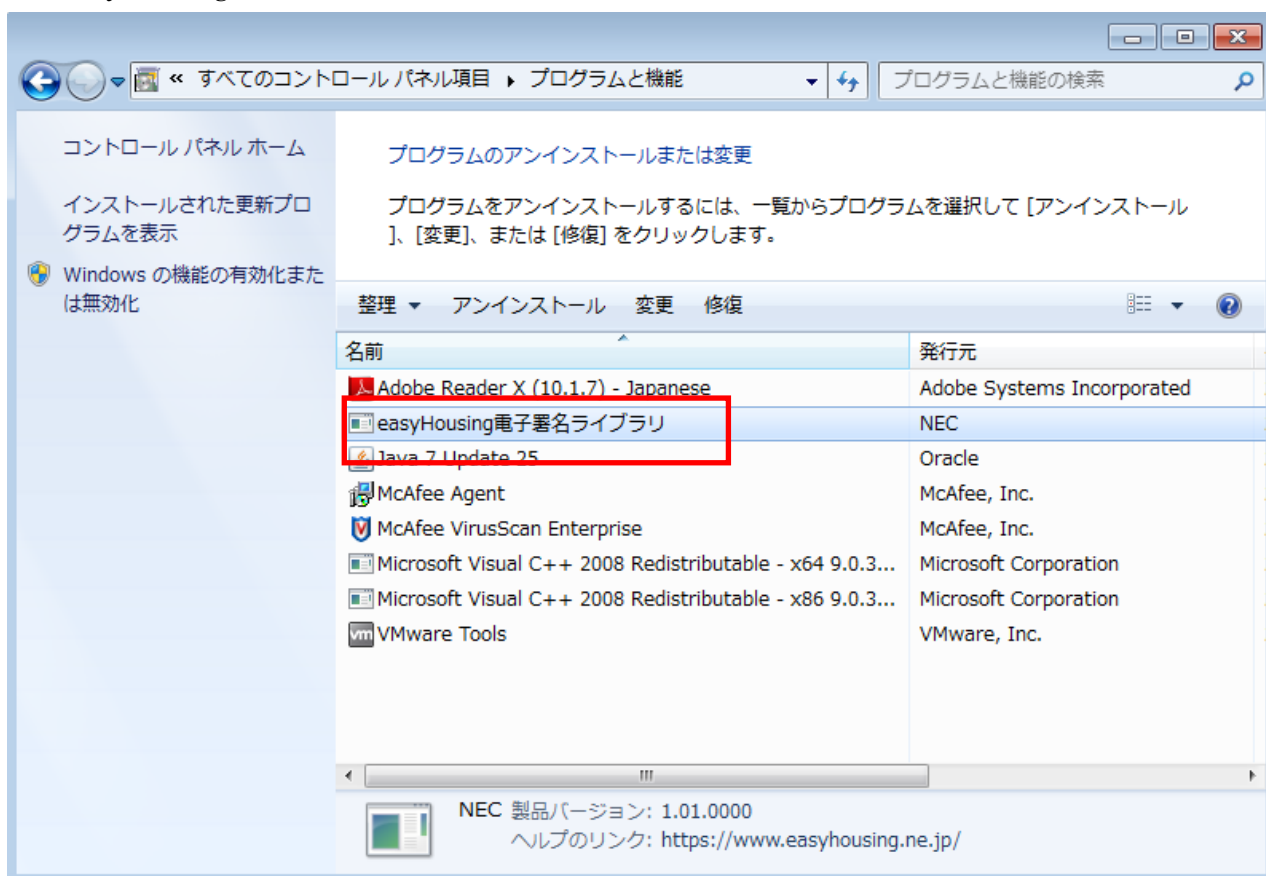
① 「スタート」→「コントロール パネル」をクリックし、表示方法を「カテゴリ」にします。



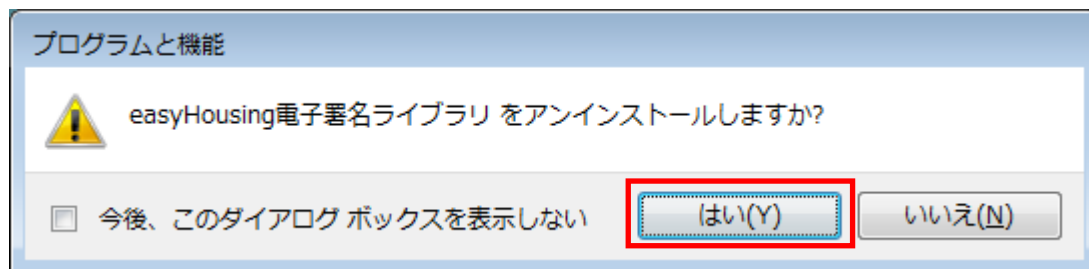
② 「プログラムのアンインストール」 をクリックします。



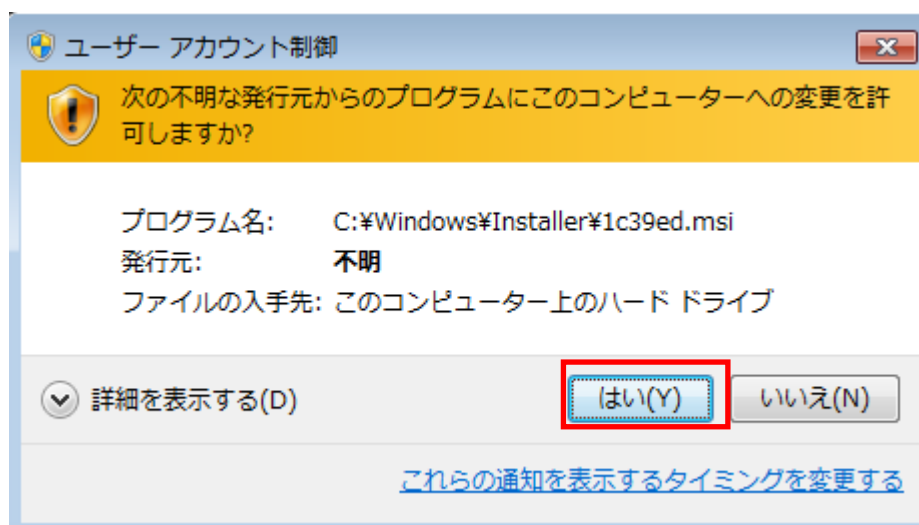
③ 「easyHousing 電子署名ライブラリ」 をダブルクリックします。



④「プログラムと機能」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

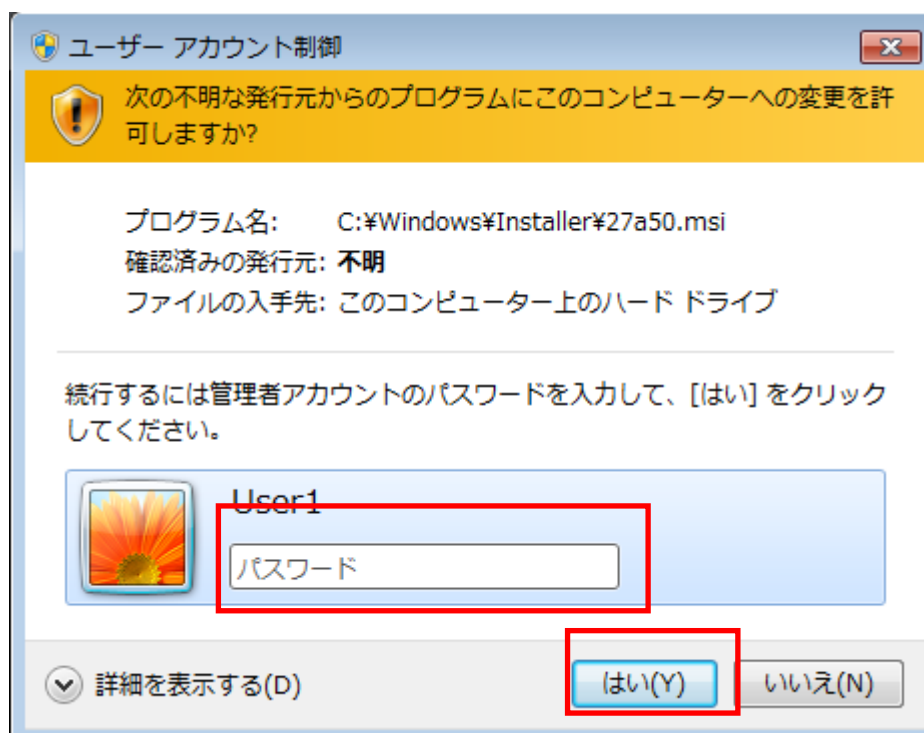


以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



補足2 必要ソフトウェアの更新手順

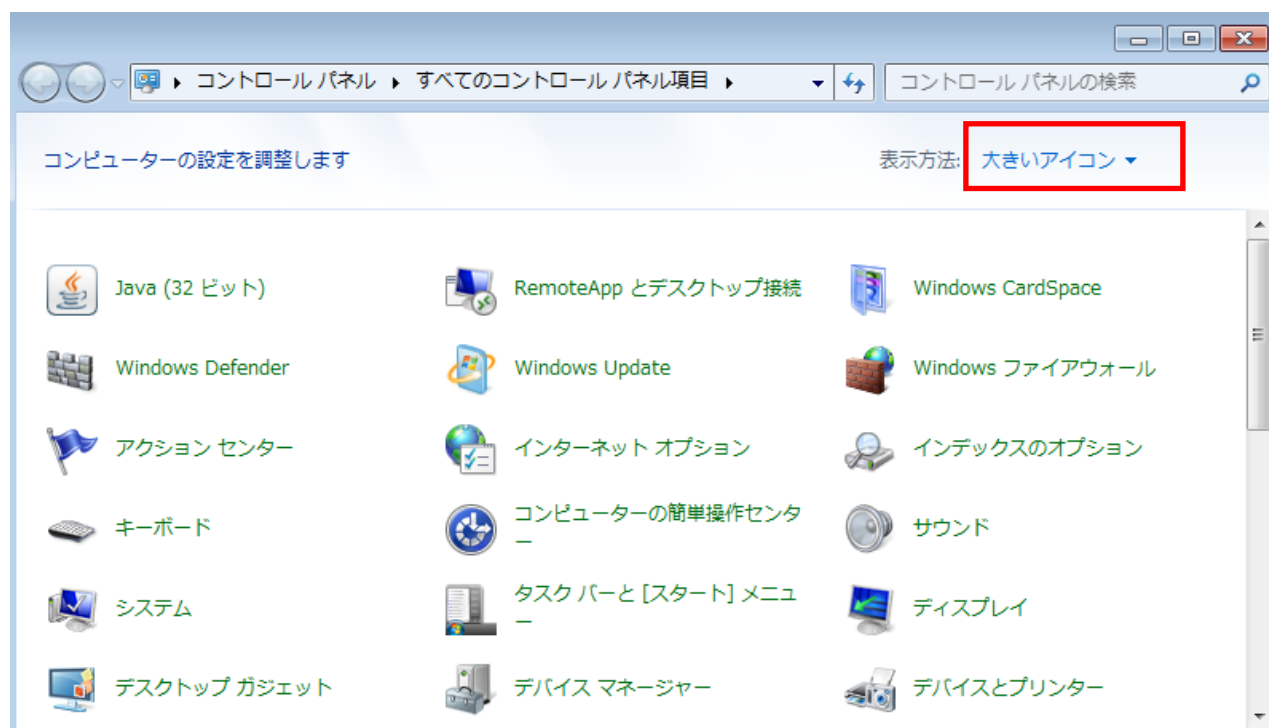
この章では、各ソフトウェアの更新手順を説明します。

インストール後に更新版が公開され、その使用が推奨されていた場合などに参照して下さい。

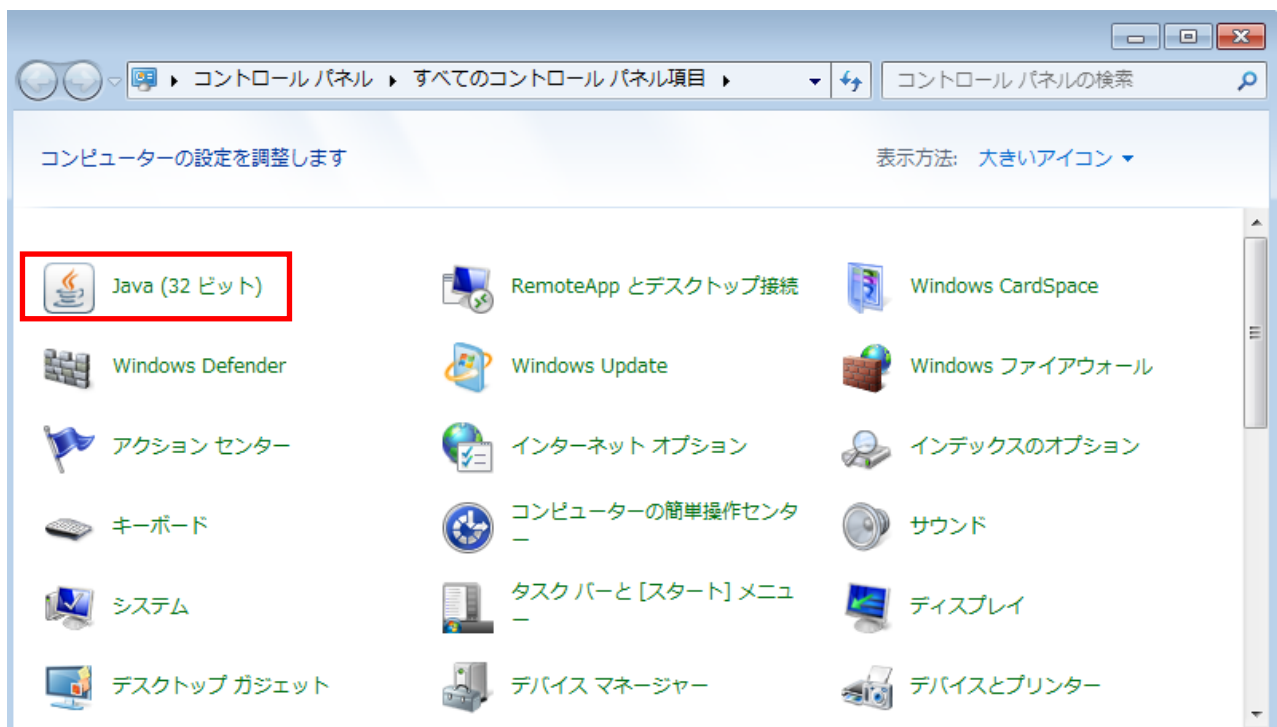
補足2.1 Java アップデート手順

※64bit 版の Java は「更新」のタブが表示されないため、アンインストールとインストールの手順を行う必要があります。

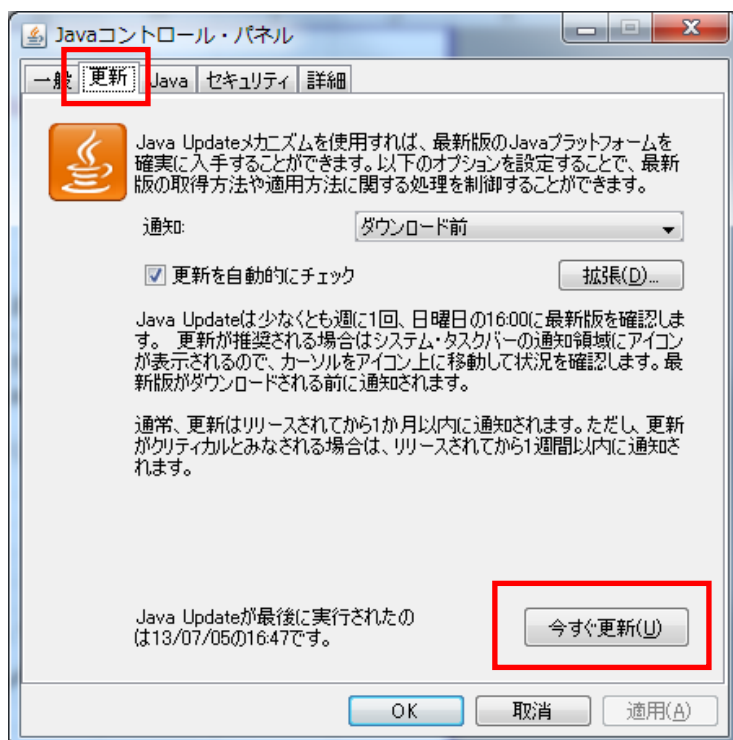
①「スタート」→「コントロール パネル」をクリックし、表示方法を「大きいアイコン」にします。



②Java のアイコンをダブルクリックします(次の画面が表示されるまで、数分かかる場合があります)



③Java コントロールパネルの「更新」タブをクリックし、「今すぐ更新」をクリックします。



④以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックして下さい。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。

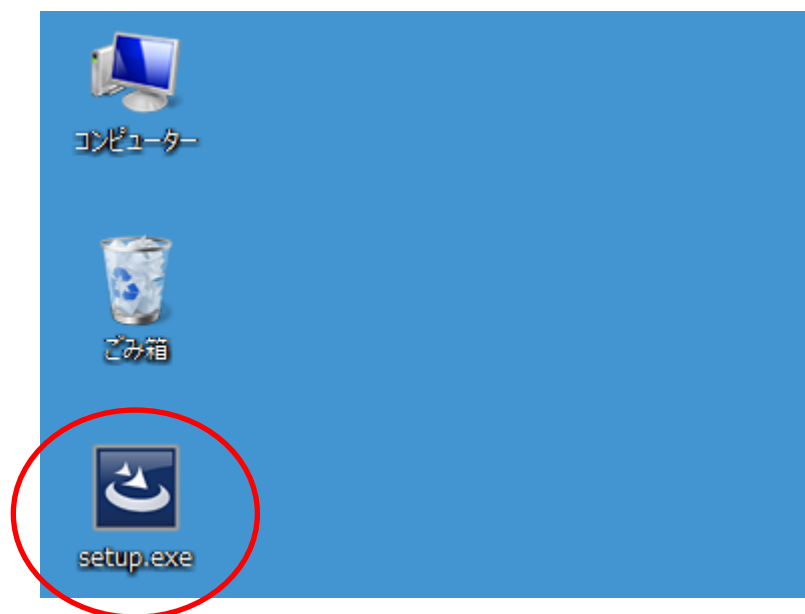


※更新中に、Ask の画面が表示された場合は赤枠の部分のチェックを外し、「次 >」ボタンを押してください。

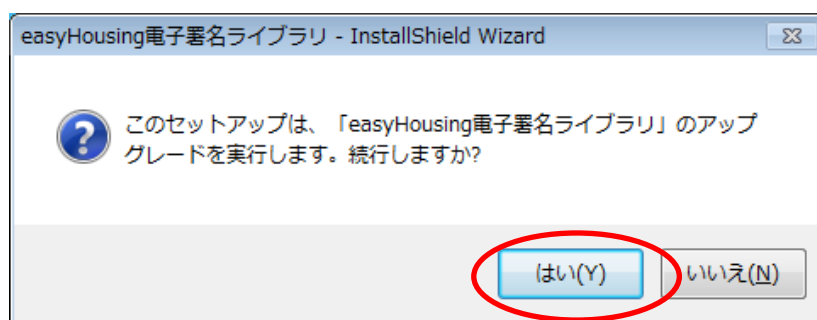


補足2.2 電子署名ライブラリ アップグレード手順

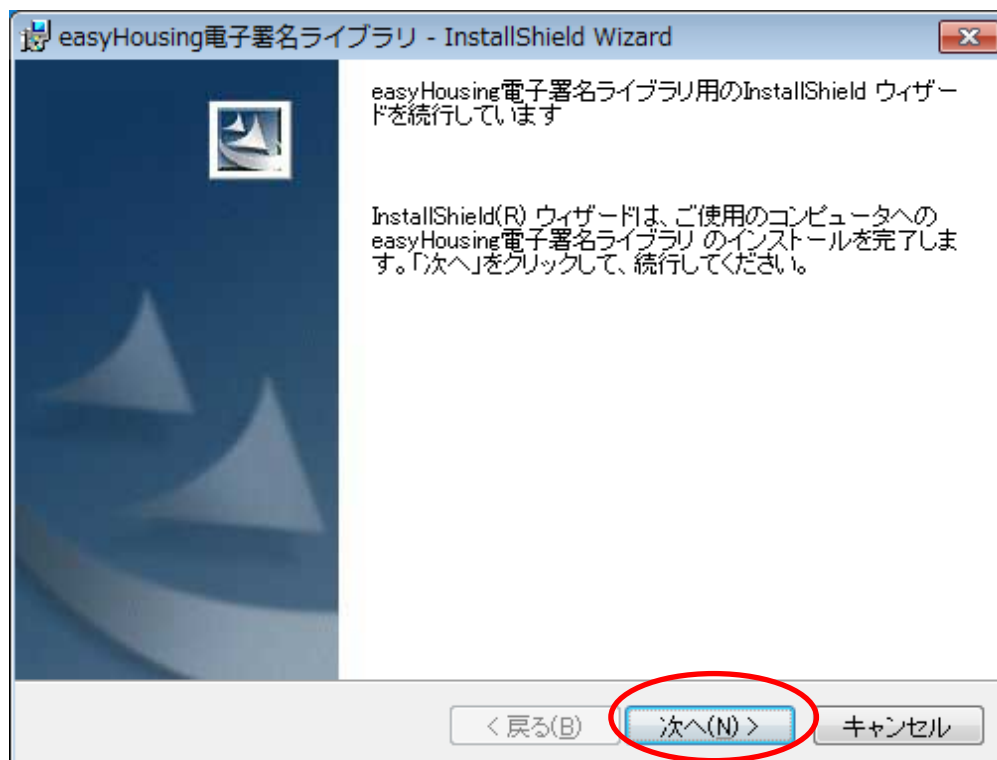
①30 ページ 「5.2.1 電子署名ライブラリのダウンロード」 の手順で
補足1 「setup.exe」 をダウンロードし、ダブルクリックします。



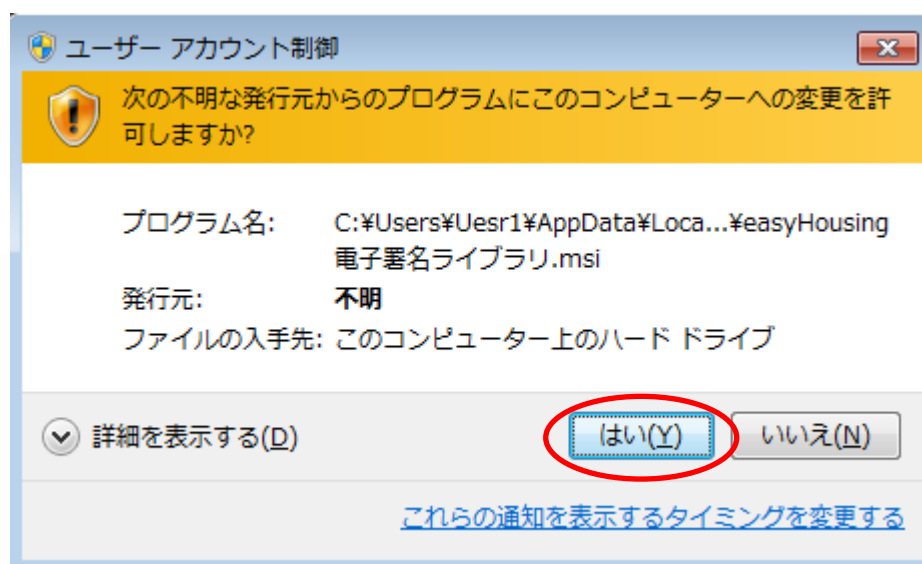
アップグレードの確認画面では、「はい」 をクリックします。



②以下の画面では、『次へ』ボタンをクリックします。

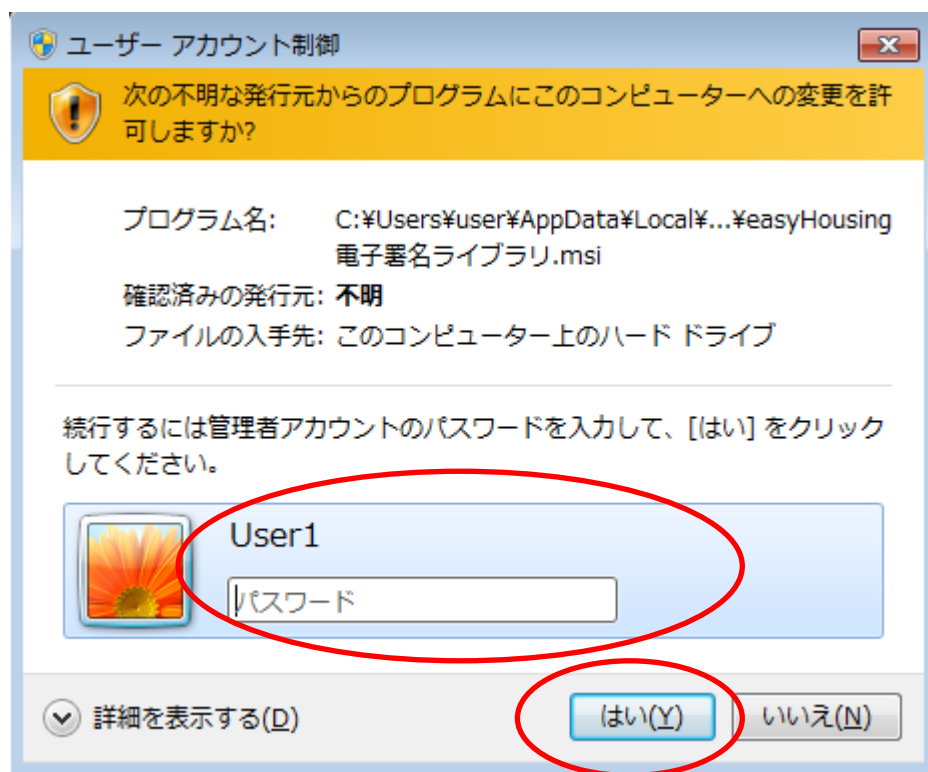


以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

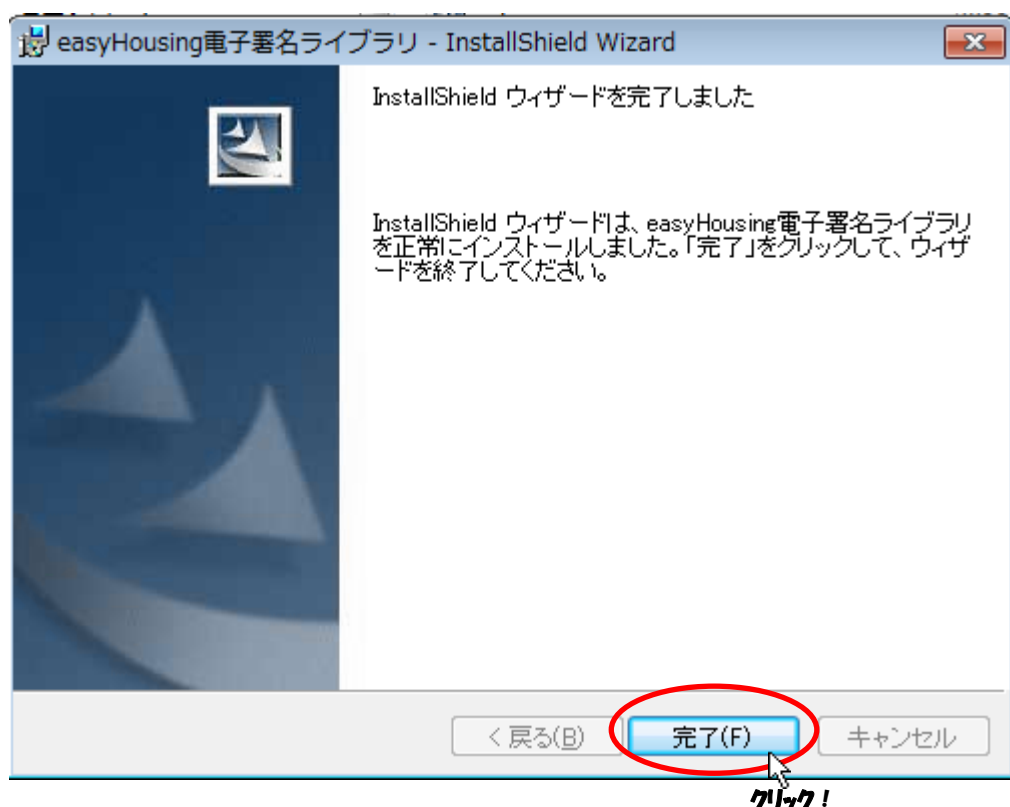


(パスワードの入力欄が表示された場合)

Administrator のパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



- ③<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックし、アップグレード作業は終了です。



環境設定マニュアル Windows7 編

2015 年 3 月 9 日 第 2.4 版

製作／日本電気株式会社

- ※ Microsoft®、Windows®、Microsoft®Internet Explorer は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。